(昭和十年十一月四日第三種郵便物認可)

新京日日新聞

夕刊 九月二十四日

發行人 十河泰忠 編輯人 和波豐 印刷人 水越内之介

康德七年(昭和十五年)九月二十五日　新京日日新聞　(水曜日)　第六千三百六十五號　(一)

無謀なる抵抗は斷乎膺懲する

佛印現地軍當局談

【○○前線廿四日發國通】佛印現地軍當局談(廿三日午後九時)＝

現地軍は佛印進駐に關する日佛兩當局の協定に基き九月廿三日友好的に佛印に進駐を開始せり本進駐は對支作戰強化の一環として重慶政權封鎖を完璧ならしむる事を主眼としあるものにして佛印占領の如き毛頭意に非ざること勿論なりしかるにわが部隊の國境通過に當り佛印の命令不徹底により局部において友好進駐の協定に反し測らずも一部佛印軍の抵抗に遭ひ且つ毒瓦斯を使用するが如き不法を敢てしたるをもつてわが部隊は已むなくこの抵抗する佛印軍に限りこれを潰滅するに決し、ドンダン附近において過去三ケ月にわたり營營築せる半永久的築城陣地に據り抵抗するこの一部頑迷なる佛印軍を極めて神速に包圍殲滅し左の如き戰果を獲得せり

一、捕虜四〇〇(佛人將校多數を含む)
一、遺棄死體一三〇
一、鹵獲品
山砲二、速射砲一、重機二、小銃二〇〇
一、その他武器彈藥等多數
一、わが軍の損害は極めて輕微なり

右はまつたく已むなき處置にして軍は固より日佛の協定に基き飽くまで友好裡に進駐することを祈念し且つ最早他の佛印軍はその政府當局の意思に反せる無謀なる抵抗をなさざることを信ずるも、もし今後と雖もかくの如き佛印部隊あるにおいては當該部隊に限り斷乎膺懲の手段をとることあるは已むを得ざるところなり

新秩序建設に貢獻

佛外務省コンミユニケ

【ヴイシー廿三日發國通】フランス外務省は廿三日日本軍の佛印進駐に關し左の如きコンミユニケを發表した

日佛兩國軍事當局は東亞新秩序建設に貢獻するとともに支那事變の解決に資せんがために九月廿二日滿足すべき協定妥結に到達した、即ち

一、日本は佛印において對支戰爭繼續のため特別の便宜を獲得する

一、日本はその代償として佛印におけるフランスの主權および領土保全を尊重する旨確約した

協定成立を喜ぶ

泰國の見解

【バンコツク廿三日發國通】佛印問題解決に關し泰國官邊筋の意見を綜合すれば次の通りである

佛印問題が圓滿解決し平和裡に日本軍の進駐をみるに至つたことは日佛兩國の友好關係からみて欣ばしいことである、泰國は佛印問題には接壤國として異常な關心を持つてその成行を注視してゐたのであるが今回の協定成立は泰佛關係ならびに泰日關係にも好影響を與へ延ひては東洋全體の平和維持のため極めて重大意義を持つものである

獨暗默裡に是認

【ベルリン廿三日發國通】ドイツ政府は佛印問題に關しては政治的考慮から一切發表を避けてゐるので日本軍進駐の事實も未だ全然報道されてゐないが、佛印はその地域的關係からすれば當然日本の支配權內に包含せらるべきものであるとして日本の主張を認めてゐる、右につきドイツ外務當局は廿三日午後次の如く語つた

日本軍の佛印進駐は協定に基き行はれたものだ、ヴイシー政府側でも廿三日日佛印の協議により圓滿解決に到達したと言明してゐるし日本側スポークスマンは今回の進駐が何等の領土的要求その他特殊の意味を持つものではないと強調してゐるから事態はこれにより圓滿解決を見るであらう

英米深い關心

【マニラ廿三日發國通】日本軍の佛印進駐に關し當地では既に豫期してゐたこととて特に多大の關心を示してはゐないが、廿三日のヘラルド紙は社說において

一、佛印政府がドイツの支配下にあるペタン佛政府に忠誠を示したこと

一、英米兩國が極東の軍事的紛爭舞臺の擴大に多大の關心を示しつゝあること

の二點を擧げわが國の佛印進駐の意義を重大視し特に目下ワシントンで行はれてゐる英米濠三國會談が極東情勢に對處するためシンガポールの英米共同使用を協議してゐる事實をこれと結びつけ大きく取扱つてゐる

佛印二景(上)河內の大鐵橋(下)海防市街

外相歸國

【ローマ二十二日發國通】去る十九日ローマ到着以來連日ムツソリーニ首相、チアノ外相と重要會談を行つたリツベントロツプ獨外相は二十二日正午ヴエネチヤ宮にムツソリーニ首相を訪問、歸國の挨拶を述べたのちチアノ外相のテニス倶樂部における招待午餐會に臨んだ、午後六時ローマ發ベルリンに向ふ豫定である

泰佛條約の解消辭せず

【バンコツク廿二日發國通】泰國議會は廿一日で閉會したが、閉會に先立ちルアン・ピブル首相は最近の泰國を繞る國際關係に關して演說を行ひ特に對佛問題に關しフランス政府が正義に基く泰國の正當なる要求を受諾しない場合泰佛不可侵條約を解消するであらうと強調聲明した

一應意思表示か

米國の關心態度

【ニユーヨーク二十三日發國通】日本軍佛印進駐の記事は朝刊各紙ともかなり大きく扱つてゐる、既に豫期されてゐたため一般には深刻な刺戟を與へなかつた模樣である、官邊では單に九月四日のハル聲明の趣旨を指摘し米國の輿論に好ましからざる影響を與へるであらうと繰返してゐるに過ぎない、佛印が手輕に手に入ればついでに蘭印への進出を促進することになりはせぬかといふのが最大の關心事のやうである、何れにせよ一應の外交的意思表示をなすものとみられてゐる

前佛首相刑務所へ

【ヴイシー廿二日發國通】シヤゼロ古城に拘禁中のダラディエ前佛首相は廿二日ラオムの刑務所に移された同近日中に第一回の裁判が右州務所において行はれることになつたといはれる

英皇帝對米御放送

【ニユーヨーク廿二日發國通】ニユーヨーク放送協會の報道によれば、英國皇帝ジヨージ陛下は廿三日正午ラヂオを通してアメリカ合衆國に御呼び掛けられることになつた右に對する合衆國一般の期待的關心は合衆國と、一方英國の大西洋沿岸領域間の取極に關する問題にかゝつてゐる

組織化の徹底と國民結合が緊要

經濟相施政方針說明

全聯第四日のけふ經濟部大臣のなした施政方針演說の要旨は左の如くである

◇

我國は支那事變開始以來盟邦日本と共に戰つて來た、日本と我國とは終始一體なるべきが故に、日本の係はる事變は即ち我國自身に係はる事變と爲こそ無ければ其の參戰遂行の爲に政府としては逐次所要の策を講じ必要なる手段を執り來つたのである、經濟產業諸部門にだても官治統制、國家管理は次第に其の範圍を擴大し、生產力擴充強行の反面物資需給の調整を敢行する等各般の施策は克く日本と相呼應して其の實施を見、事變以來所謂統制の對象として執り上げられたものは其の數殆ど算ふることが出來るのである滿洲國の經濟產業部面にだて今や必須となつた斯かる高度の統制乃至管理の實現に關して先づ第一に執り上げらるべき事柄は夫々の關係部門にだける組織化の徹底と之等各組織への全國民の闇然するところなき結合の早急完成が是である、我國は其の中に諸民族を抱擁してゐるが國民の大多數を占むる者は即ち滿系であるが故に之等滿系士民總員の組織への吸收は特に重點的に考慮せらるべき事項であつて、斯くして各組織を通し國民中殊に滿系士民の側にだて「一人の反對者も無き」は勿論「一人の傍觀者も無き」全的積極的支持を齎らすべき體制を確立することこそ刻下の產業經濟諸政策の遂行について缺くべからざる基本的要件なりと信ずる、以下所管事項に關し大體所謂金、物、人の三部門に大別して申しのべたい

△金融面に資金關係 近時の內外事情の激變、就中日本にだける戰時經濟の進展に伴ふ資金統制の強化、歐洲戰亂の擴大に因る外國貿易關係變移に基く爲替取得の困難化、國內開發建設事業の進展に依る資金需要の飛躍的增加、更には滿洲經濟力の源泉であるところの農產物の萬荷不振及其の輸出減退等の爲に我が國國際收支調整並に國內にだける資金の需要調整について少からぬ困難を感ぜられる實狀に在る、仍て之が對策として政府は素より日本に對し須要圓資金の供給方に關し累次折衝を重ね之が打開に努め來つたが他方國內に在つても政府自體其の財政計畫を再檢討し國及地方其の他各會計豫算の改訂を斷行すると共に一般特殊會社の所要資金についても極力其の緊縮を求め新規募債の可及的減額を圖り對日或は對支送金の調整を行ひ、銀行等金融機關に對しても不要不急資金の貸出、物價騰貴を齎らす虞ある資金の放出を極力回避せしめてゐるのである然し乍ら之等の緊縮方針は徒らに我國經濟の行詰りを示し乃至は萎縮退嬰を要求するものにあらずして緊縮節約せられたる資金を加へ貯蓄の獎勵、彩票の增發其の他に依る民間浮動資金の吸收、公債地方債の地元引受促進に基く地場資本の活用等綜合的推進に依りまして動員せられたる資金を國家の最も必要とする部門に集中し以て重點主義に由る國策の遂行に遺憾なからしめんとするのであつて茲に資金統制の嚴選重點主義の徹底を更に高度ならしむるの必要があるのである

△物資問題 產業五箇年計畫關係鑛工部門の昨年の實績は開發上幾多の障害ありしにも拘らず計畫のほゞ八十パーセントに達し、尠からず我等の意を強くするものがあつたが近時に於ける勞力及資材入手難の激化は國內生產擴充の全面的推進を愈々全く困難ならしむるのであつて茲にも嚴選重點主義に依る增產遂行、開發強行の必要を生し事態の切迫は建設計畫活動より生產其れ自體の活動促進へと推し進めて來たのである、茲にだて政府は重要產業の開發面に生產擴充を擔當する特殊會社の再檢討を行ひ之が運營を合理化刷新し國が要請する重點に向つて其の能力を最も效率的に發揮せしむる如く改善する方針である、而して之と共に重要產業統制法令を改正擴充し重要產業の總てを網羅し高度の統制體勢を整へ特に其の重點を石炭並に鐵鋼類の積極的增產に置き之が遂行の爲に其の全力を傾注して居る實狀であつて右の外各種企業效率の增進技術並資本の新導入等に一層の意勞力を重ねて居る、生活必需物資については其の大部は之を對日輸入に依存して居るものであるが之が是等の物資の日本側にだける輸出機構整備に對應し我國の側にだても輸入機構の全面的整備を行ひ、對日期待所要數量の確保と共に之が計畫性の確立を圖り併せて奢侈品及不急不要品の輸入禁止を斷行し更には輸入價格の日本物價水準への吻合調整を企圖して居る、物資特に生活必需物資の國內流通の圓滑と其の適正價格の維持は最も重要なる問題であるが過般來各省、縣、旗にだて工作中の御小賣聯盟の結成進捗に依り、或は、生活必需品會社の販賣網の擴充實施に依り更には一部專賣品の興農合作社にだける取扱開始等下部配給機構整備に從ひ逐次現狀の改善せらるべきを期待し得るのである、又本年六月より實施の物資物價統制法、近く公布豫定の不當利益取締規則の實質的發動は重點省にだける經濟警察の積極的活動と相俟つて更に事態を好轉せしめ國民生活の安定といふ大目的に向つて一段の進展を齎すものと信じてゐる

△勞働力問題 國防の充實、生產力擴充の強行、物資增產の遂行に伴つて勞働力の需要は增大の一途を辿り從つて勞働力の確保及之が重點主義に向つて合理的合目的配給が現下の最も重要なる問題となつてゐる、而して勞働力中苦力に付ては暫く之れを措き技術方面について觀るに、技術者の充員、熟練工の補給の重要性は益々增大しつゝあるに對し國內よりの供給は未だ育成時代にして之を期待することを得ざる實情なるに加へ國外よりの援助補給は近時益々逼迫し窮屈化して來たのである、これを所謂使用制限學生について見るも其の限度六、七年の申請數約一萬人に對し供給は僅々一千五百人程度に止り而も其の供與人員の九五パーセントは對日期待に基く如き事情に在るのであつて高級技術員の不足と併行し又一般技術員、多能工、單能工の補給に關しても根本對策の樹立を必要とするのである政府としては各特殊會社に對し積極的に自家養成を爲さしむると共に國內及日本にだて夫々滿洲鑛工技術員協會及日滿鑛工技術員協會をして技術員の育成に當らしめ、我が國技術要員の養成計畫の最大限度への擴充を期し、其の他職能登錄令の普及徹底、從業者の移動防止、賃金規正を圖り要すれば更に既有技術者の再配分にも及ぶべくもつて資金資材の方面よりする重點主義との有機的連繫の下にこれが配置の適正を期しつゝあるのである

農產、生必品價格問題

滿系熱論を展開

全聯第四日目は開會劈頭經濟部大臣の施政方針演說につぎ愈よ問題視されてゐた農產物價格と生活必需品價格の問題を盛る四件の討議に入つたがこの問題は直ちに滿洲國民の八割を占める農民の生活問題であり滿人各代表間に非常に活氣ある熱論を展開せしめたが、其中心點は昨年以來一般生活必需品が昂騰を續けた結果農產物の生產費をはるかに上廻り農民の生活を益す困窮に陷らしめ、更に今年二月十八日發表された主要糧穀の値上げに對する政府の方針の不明瞭を衝くもので各代表口を揃へて政府の態度闡明を迫つてゐるが、これに對し政府の態度としては値上げをするか

二・一八を強行するか或は別個の方法つまり蒐貨獎勵金制度をもつてするか三つの方法しか考へられず成り行きは既に糧穀の出廻り期を目前に控へ、大局的には日滿文食糧政策の遂行に多大の影響を及ぼすものとして非常に注目されてゐる、なほ武部總務長官も該問題の重大性に鑑み本會議に列席愼重を期してゐる

全聯第四日目は前日と同じく國民生活の向上に關する件が連續的協議に入るのと祭經濟部大臣の施政方針の說明が劈頭からあるのとで定刻前參與席、委員席は勿論、傍聽席もぎつしり詰つて定刻九時開催富田議長議長席に着き全員國旗に敬禮、緊張裡に祭經濟部大臣退譯補同で演壇に現はれ別項の如き施政演說の第一聲を放ち約一時間餘大局より部分に亘り政府の所信を述べ會衆に多大の感銘を與へて萬雷の拍手に送られて降壇次いで議案協議に入ることを富田議長宣し第四部國民生活の向上に關する事項第二十二號議案主要糧穀價格適正化に關する件(吉林、三江、北安各省提出)第二十四號議案農產物價と生活必需品價格均衡に關する件(興北、興東、黑河、濱江、安東、奉天、牡丹江各省提出)第二十五號議案農產物統制强化と二・一八公定價格引上による差額補償に關する件(吉林、龍江、東安、通化各省提出)を一括上程協議に入る

時代表(三江) 政府は大豆價格を決定する前に生產費(農具、必需品)等の調査を充分にやつて貰ひたい、收買價格は大連渡しを基準にしてゐるので奥地に行けば行く程安くなつてゐる、かかる不合理は直ちに是正して貰ひたい

金子代表(奉天) 新穀の出廻りは昨年の例に徵する迄もなく、刻下の最も重要なる問題である昨年の失敗は水に流すとしても本年度こそは萬全を期さねばならぬ何故なら滿洲國四千萬民衆の目はこの一點に注がれてゐるからである、われわれは二・一八公定價格をもつて今年のものと承つてゐるが、これは昨年度のものか本年度のものかはつきり承り度い、もしこれが今年度のものとすれば生產費を

超過する收買價格として大いに改正を要する、再び昨年の失敗をくり返さんか政府は道義に反した行をやつたことになり、新穀の出廻りは絕對に不可能だと斷言し得る(拍手)既にして出廻りを目睫の間に控へてゐることとなれば政府はそのうちにハツキリした態度なり方針なりをわれわれに示して貰ひたい、更に滿人は最近殆ど米を常食としてゐるやうであるが米常食の滿人は百萬人の多數に上り、その消費量は實に大なるものと想像される、これなくば政府の外米の輸入も半分位に減じ得たのではないだらうか

劉雅廉氏(濱江) 收買價格にはどこに基準を置いてゐるのか、その算定に計算違ひがありはしないか、農民中にはまた收買公定價格を上げるか上げぬのか、上げるのではないかといふ噂が既に行はれてゐる、上げるか、どつちでも政府が腹を割つて話してくれ、そのわれわれもそのつもりで働いて行ける(拍手) 又收買には一定の驛が指定されてゐるが、その地點迄運搬するは農民の負擔は超台に依つては三圓から四圓の多額に上ることがある、これは農民大衆には甚だしく苦痛であるといはねばならぬ、今年の小麥の出廻りもあまり香しくない、政府は如何に增產開發計畫を叫んだところで價格の適正を缺いたならば駄目だ、農村に於ける現狀は生產品と必需品價格の均衡を失つてゐる、一年間一生懸命になつて働いても着物一枚買へないといふことはその生きた證據であるかゝる不安な生活を續けてゐる限り、增產は先づ不可能であらう

張翻搞代表(吉林) 二・一八の公定價格引上げのあつたときは既に下層農民の手許には賣るべき何物もなかつた、國策遂行は先づ下層農民からといはれてゐるのに、引上げに依つてこれ等大衆農民は何等益するところがなかつた

尾關代表(濱江) この問題は政府に於て根本的に反省せざれば決して是正はされぬ、該問題につきわれわれ代表の知らんとすることは第一には昨年の全聯で絕對に値上げせぬと斷言したものを何故に二・一八で改正されたか、これは國民に暗影を投じ、政府の威信を落した第二に二・一八は何故に出廻りが終つたあとでやつたか、この選ばれた時期は依然として國民に一つの疑問を與へてゐる、第三に今後に於ける公定價格の維持方法はどうなつて行くか政府の發表を切に期待してゐる、この問題は分科會に廻さずにこの席上でお互肚をうち割つて話さう

玄秉鎬代表(北安) 現地收買價格をもつて公定價格とせよ、奥地に入れば入る程鐵道、運搬費の二重負擔の加重となつてゐるがこれは不當である、格付檢査員なるものは一時間に合はせの訓練だけしか持つてゐないから時々適正を缺くことがある、農村に於ける必需品の實賣は現金主義であるが農民は穀物を賣つたときしか現金をもつてゐず結局必需品は常に富裕なるものの手に入り轉賣され、農村に於ける闇取引品物價を由來してゐる、興農會では一時代貸を爲し、糧穀の販賣したときに整理するやうにしてくれゝば如何

更に楊維武代表(通化)より同樣趣旨の要望あり正午休憩に入り、政府當局のこれに對する辯明は午後に持ち越された

教育問題を審議

全聯第三日の午後

全聯第三日本會議は午後二時廿時分再開第廿六號教育振興に關する件(通化、東安、濱江、興西提出)第廿八號義務教育實施促進に關する件(奉天、北安、北吉、提出)第二十九號在滿鮮系教育に關する件(濱江、安東、龍江提出)の三件を一括上程李澤浦氏(安東)につぎ

木村亨氏(通化) 本年度から十ケ年計畫をもつて七〇%就學を目標にしてゐるが、現在は三十八%就學で設備はほとんど整備されてない時に教員の素質は悪く數の不足を告げてゐる、師道學校卒業者は初任給三十圓位である

陳景新氏(北安) 民生部大臣の施政方針說明中の國庫負擔を全額とし義務教育制を速かに布かれたい

木村源藏氏(安東) 初等教育中特に在滿百五十萬鮮系の教育部面の不整備は誠に遺憾である、政府においては本問題の重要性を特に考慮し各民族に對する教育制度は確立されてをり、共學制度

と分科會附託を要望

田村委員(民生部教育司長) 義務教育制に答へる前にまづ初等教育について述べれば理想として國民皆教育、高等教育は國家の必要に應じて行ひ中等教育は出來るだけ多くの者に行ふ方針である、この根本方針大要よりも如何にして行ふかが重大な問題においてあるが、滿洲國の現段階においてその實現は人、金、物と相俟つて非常に困難である、もし來年から義務教育を實施するとすれば人件費千五百餘萬圓、設備費九千八百餘萬圓、計一億一千四百萬圓を計上せねばならぬ、なほこの外教員一萬九千七百九人が必要である、毎年兒童增加數廿萬、不足教員需要數四千、養成數三千六百の現狀よりすれば義務教育制の實現は不可能である、政府ではこの現狀を認識し漸增方針をとり十ケ年計畫を樹立したが、經費のみでも毎年四千萬圓を要し十ケ年計畫さへも困難を感じつゝある

八百萬圓を要するが實現に努力してゐる、授業料については地方事情により授業料徵收はやむを得ない現狀である、また日系教員の配屬については日系學校、教育區中心學校には日系教員を配屬實施中、教育費の國庫負擔については單に國庫に於て負擔せよといふばかりでなく國民全部が進んで納稅をするといふ氣概を示してほしい、なほ學校にも寄附を代表諸君に依賴する、或る學校では十ケ年計畫終了後には一千萬圓の支出を可能ならしめるため地方民が學財產を作るべく寄附を行つてゐる、かく國民全部が力を合せてこそ義務教育實現も實現する、在滿鮮系教育に關する件について述べれば初等學校二十五萬、在滿十五萬の七十七級、鮮系就學率は滿系に比べてかによい、なほ詳細は[illegible]會において說明したい、微に入り細に亘り二時間十分に亘り數千萬言を費して說明

原在滿教務部長 教務部管下の鮮系十四校ついては設備その他內容付て充分改善を行ひ辦法項に付ても充分考慮した、次いで採決に入り二六號、八號二件は中央本部一任、九號は分科委員會附託と決定本會議を散會した、時に午後六時四十五分

重慶、佛に抗議

【香港廿三日發國通】重慶よりの確報によれば重慶政權外交部長王寵惠は廿三日午前駐佛大使顧維鈞に訓電を發しヴイシー政府に左の如き抗議を提出せしめた

今回佛印當局は日本軍の佛印內進駐および通過を許容した、右は佛支條約および國際公法の違反である、支那政府はこれをもつて支那の領土に脅威を與へるものと認め正當防衞手段に出ることを宣言する

熱河省境の共匪討滅

【承德發國通】第五軍管區司令部發表＝國境地區肅正工作中の國軍○○部隊は廿一日午後二時頃灤平縣頭道梁附近において共匪約二百と遭遇直ちにこれを邀擊徹底的打擊を與へ東北方に潰走せしめた

時事巷談

佛印の事など

二十三日に發表があつて佛領印度支那への皇軍進駐のことが判つた、それに依つて重慶政權側が雲南・佛印間の鐵橋を壞したり自國內にある滇越鐵道をブツ毀したりしてゐたわけも判つたのである▼それについて考へられることは、この日本と佛蘭西との交涉を重慶側で嗅ぎつけてゐたに違ひないといふことである、今さらに防諜の要を痛感せしめられたことである▼國民は國家の政策の方向を知つてゐなければならない、もはや現代は知らしむべからず依らしむべしといふ時代ではないのである、しかしながら政策の實施については微妙なものが存する、殊に外交の問題においては事每に諸外國との關係が存してゐるのであるから何更らである▼こゝに、國民は知つてゐても或る時が來るまで口を閉してゐることの必要が生じて來る、政府はもとより語らないであらう、國民も語つてはいけないのである、重慶政權が今日どのやうにして日本についての情報を得てゐるかをわれわれは知らない、しかし他の第三國といふのがあるのだし、それらの國人によつて賣られ摑かれる情報といふものも必ずやあるに違ひない、嚴重な防諜の要は明白である▼佛領印度支那の口を閉すことによつて、重慶政權は大なる打擊を受けることとなつた、今後はソ聯の方だけにしか連絡の途がつかぬこととなつた、はやくも西康公路などについての計畫といふのが放送されてゐるのに依つても重慶側が何らか窮通の策を講じようとしてゐることが察知されるのである▼佛印への進駐はアメリカあたりへも相當の感想を與へたことであらう、シンガポールの利用などなかなかに意味を持つてゐる問題のやうに思はれるのである……

人事往來

着京

△中島洋三氏(兵庫縣貿易商)廿四日來京大和ホテル
△小原恒雄氏(奉天會社員)同
△住駒政次氏(石川縣農學士)同
△田口武氏(大連會社員)同
△馬場重一氏(大連滿鐵社員)同
△岸本支那一氏(同)同
△佐々木榮吉氏(敦化木材商)同帝都ホテル
△川人勝一氏(天津礦業)同
△荻茂氏(錦州內外棉社員)同
△宮川巖氏(吉林無限製材社員)同
△近藤孝氏(釜山官吏)同
△松井東彥氏(延壽縣滿洲林業)同
△佐藤聰春氏(甘南縣縣公署)同
△倉重雄一氏(黑河東蒙公司)同
△玉置留一郎氏(黑河木材商)同
△伊藤勘三氏(牡丹江木材社長)同三國ホテル
△吳石權一氏(東洋木材社長)同
△中司憲治氏(哈東煙草會社員)同
△村井泉氏(哈爾濱日滿商事)同
△松原浩氏(同)同
△鳥海忠雄氏(盤石商工公會理事)同
△角南周吉氏(康德產業取締)同
△三枝紐三郎氏(滿鮮合同電氣)同
△金田信近氏(吉林商工公會理事)同
△村山開亮氏(鞍山縣滿炭社醫)同
△大串春夫氏(同)同
△藤崎二郎氏(滿水貿易大連支配人)同松屋ホテル
△櫻場春彥氏(安東稅關官吏)同
△富永政一氏(東京滿水貿易)同
△城島雄藏氏(琿春炭鑛)同
△松野源司氏(奉天福昌公司)同

出發

△岡廣啓藏氏 撫順へ
△染谷保藏氏 奉天へ
△升林稔氏 小倉へ
△赤石庸夫氏 哈市へ
△平野良雄氏 奉天へ

明日々々

熟島まりゆく協和會全聯、この國の當面する問題の所在を示す

×

示される方向と探りもとめる欲求と會場のなかに交織される

×

建設的リアリズムは、こゝにも極めて緊切な方法であると言へよう

×

良き精神といふもの、そこに良き方法あつてこそ始めて生かされるのだ

×

金風爽かに、ひらめく五色旗輝かしく、收穫の秋は更けてゆく

皇后陛下 大宮御所に行啓

【東京發國通】皇后陛下には廿四日保科女官長御陪乘、廣幡大夫を從へさせられ、午前十一時略式自動車鹵簿にて宮城御出門、大宮御所に行啓、皇太后陛下に御對面、御機嫌を伺はせられた御後、兩陛下御揃ひにて午餐を召させられ種々御物語等あらせられて御團欒の御後午後三時卅分御所御出門還啓あらせられた

奏でる健康譜
第九次建國體育大會迫る

秋冷の國都を彩る第九次建國體育大會は廿六日の體育大行進によつて絢爛の幕を開ける、が全滿から集ふ興亞の青年千數百名、廿七日から南嶺原頭に繰展げる競技に先立ち莊嚴なる開會式を擧行、先づ一時卅分役員、選手入場、續いて開會が宣せられ大會役員によつて日滿兩國旗掲揚、宮城、帝宮遙拜、理戰自的完遂祈願一分間默禱あり數十の參加國體旗は聖火臺のバツクスタンドに一齊に掲げられ、大會總裁張總理の式辭、武部副總裁から「滿洲青年に贈るの辭」があり選手代表(吉林籃球主將)の宣誓、優勝旗歸還に優勝盃の返還、參列國民歌「紀元二千六百年」の合唱、數百羽の放鳩裡に選手退場とゝもに嚴肅な開會式を終了する、かくて待望の體育熱戰譜は學生、兒童の防空競技によつて繰展げられることゝなつた

淸明街町 會長更任

市内長春區淸明街町會長橋本政本氏は一身上の都合にて辭任申出であり同町會は廿二日午後七時町會事務所に役員會を開催會議の結果左の通り決定した

町會長 角田 武
副町會長 小澤 作

西田天香氏 廿七日來京

滿鐵の招聘で渡滿した一燈園西田天香氏は目下南滿各地を講演中であるが廿七日午前十時卅二分公主嶺から來京廿八日、廿九日滯京、滿鐵其他で講演ののち卅日午前八時吉林に赴き北滿各地を講演行脚の豫定

新聞北利民△佐賀新聞中尾伊八△佐賀日日新聞西村清春△長崎民友新聞黑岩清春△福岡日日新聞高口雅順△門司新聞日日新聞辛谷保△門司日日新聞吉田敏重

入用「一萬餘人」
内地から新採用

來年度に於ける日本學校卒業生滿洲國割當については さきに政府より根本方針が明らかにされたが、同方針に基き對日具體的折衝を行ふため企畫處大森參事官、經濟部佐久間事務官及び各關係會社等官民關係者が二十七、八日頃東上することゝなつた

滿洲國は五ケ年計畫の進展その他技術部門及び文化部門に於ける人的需要は益す活潑化しつゝある實情にあり本年度對日交渉にあたつても要求數は絶對確保せねばならぬ意向の下に折衝が行はれるが、滿洲側の要望數は本年度分割當に比し約二割方增の一萬餘人が見込まれてゐる

日歸東軍、滿鐵支社、滿洲國各機關を訪問離京北支視察の途へ歸國の豫定であるが參加新聞社は左の如くである

△中國新聞長尾一郎△伊豫新報曾我鍛△南豫時事新聞泉原吉△防長新聞永見貞一△松陽新聞安部義郎△山陰新聞西山虎治△大分新聞稻富哲郎△宮崎新聞增谷龜人△鹿兒島新聞小原彌馬△鹿兒島朝日新聞辰元作德△九州新聞千葉策次△九州日日

全聯スナップ

△△△△△△ あゝ牛の如く

敎育問題の説明に起つた安東省代表の木村君、敎員生活圖の困窮を訴へ「これら敎員はたゞ默々と牛の如く國家に盡してゐるのである」と語氣を強調すれば方々からの拍手と共にマイクまでユラグ(晃)

△△△△△△ 全聯ファン

張司法部大臣の令孃が連日階上の傍聽席で熱心に耳をかたむけ眼を見張つてゐる、この親にしてこの子ありか(晃)

△△△△△△ ノッポも辛い

敎育問題の政府側回答に起つた背丈の低い田村敎育司長の傍にはノッポの通譯子子が滿語に譯す度に背を丸くして語るのはツライツラ

てゝも農民は一年間一生懸命働いたつて着物一枚すら

△△△△△△ 風景さまざま

◇…全聯第四日の廿四日開會劈頭施政方針演説を試むべく大臣としてはじめて全聯の演壇に起つた蔡經濟部大臣、開口一番「今や世界の情勢はいくら政府が增産計畫を樹てゝも農民は一年間一生懸命働いたつて着物一枚すら出來ない狀態である」と農民の生活難を語り拍手カツサイ(晃)

あらゆる國をあげて經濟的難局に立ち至つてゐる」と慷慨的激越口調で開會したばかりの議場の靜けさを破ればサツと緊張の色が會議場一面に漲る、全聯第四日はかくて緊張のうちに幕を開いた

◇…全國民の關心を集めた經濟問題が上程される日だけに傍聽席も午前十時には立錐の餘地ない有樣、昨日青年大臣振りを發揮した于興農部大臣が參與席で何か懸命に筆記してゐるほか特別傍聽席には金首都市長の顏も見られ政府委員の席も前日に比して盛況を呈した

◇…連日增加を示す婦人傍聽者のためにこの日から特に婦人席も設けられ、ずらりと並んだ婦人連が張り切つた議場に一脈の和やかさをみせる

文盲を絶やせ
來月「識字讀書週間」

明朗滿洲の建設には先づ文盲を絶やさねばならぬと、民生部の音頭で〝識字讀書週間〟が來月七日から十三日まで全滿にわたつて行はれる

この運動には滿洲圖書株式會社、滿日文化協會、滿洲書籍配給株式會社が直接參畫して二十萬枚の漫畫入りチラシをばらまき〝文盲はこの世の敗慘者なり〟の印象を滿系民衆に滲透させ向學心を煽ることになつてゐる

尚ほ同期間中は字の讀める人々には〝讀書週間〟として書籍に親しむ運動が行はれる【寫眞は同週間のポスター】

大陸ろおかる

【海拉爾】ノモンハン事件に展開された昨夏の對ソ蒙血戰の思ひ出をカンバスに再現せんと十八日來海呼倫ホテルに滯在中の鶴田吾郎畫伯は廿日早朝飛行機で現地に赴いた

◇

【佳木斯】地方在來馬の質的調査は馬事調査法に基き康德元年以來種々施行されてゐたが、省公署では更に軍事産業上の要請に即應して新馬政方策を決定するため二十三日より約一ケ月間に亘つて馬政局の應援を求めて省下の地方在來馬に對する本年度第二次馬質調査を施行優良馬一縣平均七十頭には表彰賞狀ならびに賞金を授與する

◇

【佳木斯】佳木斯營林署では中央の大造林計畫に基きその一環として明年度更に樺南ならびに依蘭縣大面積の二ケ所に苗圃を新設する

◇

【哈爾濱】滿鐵の精華と謳はれ今もなほ全廿萬從事員に脈々の滿鐵魂を植込んで全滿七千の殉職社員記念碑はさきに除幕式を擧行したが更に哈爾濱を加へて將來各鐵道局及び北鮮事務所に七個の記念碑を建立する豫定であるがその第二番を承る哈爾濱の殉職社員記念碑は建設費二萬三千圓を以て哈鐵局前の廣庭に去る七月十三日起工、爾來千餘名の哈鐵社員の勤勞奉仕によつて高さ七米の花崗岩碑はこの程見事に出來上りその晴の除幕式が廿一日午後三時十五分より擧行された

◇

【承德】協和會、國婦其他の警察官及び地區日滿軍警慰問隊は毎本事務長を班長に二十一日午前九時發トラックで出發、灤平縣、豐寧縣大閣、古北口、興隆縣、東卯鎭を慰問、二十日歸承するが、一行は慰問品の外映畫、レコード並にビラ約五萬枚を携行國境地區農民に對し國家觀念の認識共產軍に對する敵愾強調等に全力を注ぐ筈

また僞警察官

國都にまたしもの如く現れる僞警察官の暗躍に首警司法科や都下各署が撲滅の途に努めてゐる折柄また日曜日の雜沓を利して廿二日午後八時五十分といふまだ宵の口の時刻に大膽にも長春大街交叉點で平治路四五李廣彦(三五)を「俺は警察の者だ、不審の點があるから身體檢査をする」と廿五、六歲丸顏の滿服自轉車男が暗闇につれこみ所持金百五十餘圓を強奪逃走した、なほ僞警察官の出現はすでに十回を超えるがその手口から同一人の犯行とみられてゐる

全滿一周滑空機
歸還迫る
完翔へいま一と息

滿洲空務協會の〝劃期〟的壯擧「グライダー現航全滿一周飛行」は各地の歡迎をうけつゝ豫定のコースを翔破しいよく二十七日午前十時新京鐵道西飛行場に晴れの歸還をなすことになつたが

空務協會では同日午前十時から鐵道西飛行場に於て歸還歡迎式を擧行して搭乘者の勞を犒ひ直ちに新京神社を參拜無事歸還の奉告を行ひ午後七時から國防會館に報告演說會を開き新京出發以來歸還までの飛翔につき搭乘者より報告をなし航空映畫を上映して閉會の豫定である

西日本新聞社 視察團來滿

滿鐵門司案内所主催西日本新聞社大陸視察團一行は朝鮮經由二十五日午後一時三十五分奉天着滿鐵々道總局を訪問、滿洲情勢一般につき座談會を開催二十六日撫順視察、二十七日大連滿鐵訪問座談會開催市中見學旅順戰跡を弔ひ二十九日午後五時二十分來京三十

國都の種痘始まる

國都における種痘は二十四日から祝町を皮切りに始められ各所で行はれてゐる【寫眞は祝町衛生試驗場で種痘を受ける人】

航空卅年
四分間に二千米
日本最初の飛翔記録
今から思へば夢だ

紀元二千六百年のこの年はわが航空の歷史あつて三十年に相當し重ねてめでたい航空記念日を來る二十九日に迎へることゝなつた、三分の一世紀は悠久な歷史から見れば僅かなものであるかも知れぬが人類が有史以來夢みて果さなかつた空中の征服なる立體的活動の舞臺を獲得したのは恐らく人類の文明史上最も重大なる劃期的出來ごとゝせなければならない

……◇……

然も我が航空界が明治四十三年十二月十九日德川好敏大尉(當時)の操縱するアンリファルマン式によつて四分間に二千米の距離を飛んだ日から新秩序成らんとして鵬翼宇内を壓する今日までを懷古するときその長足の進歩に何人も驚嘆するであらう

今や飛行機は國防の利器として國民がひとしく理解をもつさきには各地區の防衞司令部が置かれ今では各地區に軍管區が設けられるといふ充實ぶりである

この立派な防空體制の出來上るまで極めて平易に辿つて來た道を述べて見やう、勿論今日の國民防空も決して完備したものではなくまだく改善し研究し改良せねばならぬ所いて理解をもち進んで一致協力しやうとして來たことは格段の進歩である

……◇……

日本に於て航空が公式に取上げられて國防上の問題になつたのは明治四十四年議會で石本陸軍次官が當時陸軍に出來た所澤飛行場と飛行機四臺購入以後の研究費の説明をしたのが始めてであつてその頃の豫算は六十七萬圓にすぎなかつた

當時飛行場は果して軍用として價値があるか否かについて殆んど確信を持つた人はなく山本權兵衞伯が首相當時に於て「目下試驗中であつてその價値は疑問なり」と述べてゐたやうな有樣である

從つて飛行機は輕業か興行の如く考へられてゐたのであつて日本で最初に飛行機をもつて國防上重要であることを述べた先覺者は大正二年五月四日都市連絡飛行を試みて不幸深草で墜死した民間最初の犧牲者武石浩波氏である

……◇……

氏は在米當時文筆もたち識見もあつたので明治四十四年に「飛行機國防論策」なる一文を草しわざく故國へ寄稿して來たのを「日本及日本人」五月號に掲載された、勿論現在と事情は異るがなほ論旨の適切なことは失はれない【繪はその昔の人達の考へた飛行機】

長野縣視察團と座談會

長野縣市町村事務關係者滿洲視察團二隊四十四名は二十四日午後八時四十分着で拉法から來京二泊、二十六日午後十一時三十分發で奉天への一隊と廿五日午前六時五十四分着で哈爾濱から來京一泊二十六日午前八時發奉天へ向ふ一隊を迎へて在京長野縣人會は二十五日午後四時半から兒玉公園角國防會館で座談會を開催する會費一圓當日持參となつて居り同縣人の多數參加を希望されてゐる

高田畫伯個展

本紙朝刊文化面に目下連載中の小說〝世紀の英雄〟の挿繪を執筆してゐる高田よしを畫伯の滿洲風俗スケツチ展を廿四日より向ふ三日間寶山百貨店六階ギャラリーに於て開催することになり今朝蓋を開けた出品點數約三十五點、それに畫友連の贊助出品があつて賑つてゐる【寫眞は蓋をあけた同會場】

全滿打って一丸
雪だるま式運動
「自興隊」へ青年の熱情

全聯第三日目の廿三日本會議終了後興安南櫻井慶八、三江廣部永三郎、奉天藤井順治、東安荒木一二、熱河籾田利雄、吉林小林忠夫、濱江大脇輝司、興安北矢口勳、錦州河内岩夫、東安井村定治の代表、省事務長は全聯第五委員室で首都代表須藤信隆、新井兼三、事務長中村寧氏等を圍み自興運動懇談會を開催、首都青年起つの聲に應じて全滿各地に於ても青年自興の氣運やうやく澎湃としておきつゝあることをこれら代表はそれぞれ報告し合つたが

今後は現地の青年を如何に導き自興運動を如何に展開してゆくかについて懇談を行ひ、中村事務長から首都における情勢を説明、さらに須藤代表から「字こじ會」自興隊結成準備隊の結成の模樣等の説明が行はれ全滿打つて一丸となり雪だるま式の運動を展開して新東亞建設の推進力たらうとの力強い叫びがあげられたさらに首都における自興隊結成の曉は現地から青年を派遣し隊内にて充分訓練を行ひ文字通り全滿青年の同志的結合の下に運動を展開することを申合せた

日本精神を蒙系に
太田覺眠老師の新著

シベリア開敎に一命を賭けた若き日の情熱をそのまゝ七十四歳の老軀をかつていまは喇嘛敎改革善導報國の誓ひも固く興安南省通遼東科中旗に骨を埋める覺悟のもとに莫力廟で蒙古民族の指導敎化にあたつてゐる太田覺眠師は喇嘛敎衙成立以來全民族をあげてその改善向上を目指す氣運が釀成されて來たのを機として日本精神の基調である忠君愛國の思想を普及せしめ以て喇嘛信徒に新しく生きる途をさし示すべくこのほど「喇嘛敎新論」(蒙古會館發賣)五萬部を上梓無料配布したが、喇嘛敎改革といふ重大問題に直面した蒙古民族にとつての恰好の指針であると青年層の感銘を深めてゐる

住宅難追放へ
全聯で對策を懇談

全聯第一部十九號住宅難應急對策に關する件(首都、龍江、興安南提出)の懇談會は廿三日午後二時半から寺中首都新井首都其他各代表關係機關及關屋首都委員ら出席して開會、まづ首都新井代表から國民住宅の總括的方策を確立するため總務廳外局として住宅局の如き機關を中央に設置し地方にもこれが事務局を設置し住宅政策の一元的實施を計られたいと住宅政策の確立を要望、これに對し四、五代表から賛否希望意見あり、續いて飯塚企畫處參事官が國防國家としての滿洲國が向ひつゝある住宅政策方針並に現在の住宅統制狀況について説明、從來全然顧られなかつた住宅行政主管官廳の明定による建築機構の一元化が講ぜられてゐる點を明らかにして注目を惹いた、これに次いで隱岐經濟部物價科長が

目下全滿で必要とする住宅は約六萬戸であるに對し實狀は僅か一萬戸が建築されたに過ぎない、住宅政策の確立により政府が全力をこれに集注すれば資材難の現下においても六萬戸建築は不可能ではない、その對策として來年度においては建築物動計畫を樹立し一般物動計畫中にこれを持ち込む等へである

と過去の實績による今後の住宅對策を詳細に説明、續いて中西民生部厚生科長から住宅政策に對する民生部の態度、更に關屋副市長から地方關係から見た政府の住宅政策について意見を開陳、山田建築局總務部長の補足説明が行はれた、次に資材の配給について野口龍江省代表ほか二、三代表から配給の圓滑化、適正な資材の配分、時期を得た配給、來年度の資材配給方針、木材拂下手續の簡易化等質問、これに對し隱岐物價科長から充分に考慮されてゐる旨答辯、次いで細部質問が交されたのち辯法の第三項小住宅の多數建築、第四項煉瓦の規格統制は文書回答で議されてゐるので採決に移り第一項住宅政策の確立、第二項住宅建築資材の必要最低限の確保は國民の協力も必要とされるので本部一任、第三、四項は解決と決定、午後六時五十分散會した

東安屯の雜貨商に強盜

廿三日午後十一時十分新京東安屯北街雜貨商馬子和(五八)方に煙草を買求めに來た二名の男が矢庭に店番中の馬を毆りつけ賣上金七圓五十錢入の手提金庫を強奪逃走した

櫻井重義氏夫人

新京交通會社取締役櫻井重義氏夫人八ナ子さんは豫て腎臟病のため滿鐵醫院に入院中のところ廿三日午前九時死去した、享年三八、告別式は廿五日午後二時から吉野町太子堂で執行される

スリつかまる

二十三日午後五時頃新京驛第二ホームを密行中の鐵道警護隊宮下、于兩刑事は第一ホームより構内三等待合に向つて逸走して來る滿服の男を發見したので逮捕し本隊へ連行取調べたところ

右は住居不定無職羅法彦(二四)で發車時の雜沓を利用し乘車しようとして居た津田粕夫氏のズボン後ポケットに在中の財布を拔き逃走した所を捕つたもので今迄もこの手を用ひて稼いでゐたものと判明、餘罪を追及中

木原中將逝去

滿鐵顧問木原淸中將は二十三日東京市牛込區甲良町二二の自宅で急逝した旨入電あつた

ニッケの毛布

・・・ニッケでは、これから急速に移行して行く寒さへの用意、特に低溫生活に必要な毛布各種を取揃へ目下出陳中である　大同大街の

スポーツ
全滿硬式庭球選手權

康德七年度全滿硬式庭球選手權大會は九月廿八、九の兩日新京大同公園コートに於て開催されることになつたが主なる要項は次の如し

△試合開始時間 複一回戰(廿八日午前十時)複二回戰(午後一時)單一回戰(午後二時)單二、三回戰(廿九日午前九時)複決勝(午後一時)單決勝(午後三時)

△出場人員 單十六名(各地區四名)複八組(各地區二組)

△出場方法 全滿を大連、奉天、新京、哈爾濱の三地區に分つ(但し大連は招待)出場希望者は最寄の地區所在體育聯盟事務局庭球部長宛申込み庭球部役員の銓衡を經て大滿洲帝國體育聯盟内庭球協會に推薦ありたきもの

△申込期限、九月廿五日午前中に民生部内大滿洲帝國庭球協會理事長隱岐猛男宛申込むこと

電々再勝す

新京實業球リーグ第十日滿洲國對電々二回戰は廿三日午後四時卅五分から兒玉公園球場に於て古賀(球)山本、川田、針原(壘)四氏審判滿洲國先攻で擧行されたが、九A對五で電々勝つ、閉戰六時十七分

滿洲	0	0	1	0	1	3	0	0	0	—	5
電々	0	2	0	0	0	0	2	5	A	—	9

(滿洲國)佐貫、稻葉、岡、十矢、淺白、竹々、木瀨、口原、本河、野原、島内、田田、村下、村島、利原、村田、稻廣、守山、森金、北毛、榊西、村々

二壘打=廣瀨2△併殺=(田)(栗原、十河)△犧打=…佐々木、十河△四球=…(廣田、村田)(村田、廣田)…打=榊原9、西村2、豬口6、竹内2△補殺=北島△殘壘=電7、滿8△試合時間=一時間四十二分

棒高に新記錄

住年奉祝關東州體育大會は廿二日大連競技場で擧行したが棒高飛において森脇(撫順)、中村(大連)の兩選手は四米十の本年度日本最高記錄を樹立又同競技において宮城選手(大連)は四十四米五十一の好記錄を出した

團體往來

△秋田縣開拓地視察團 奉天へ
△長野縣開拓地視察團 吉林より
△兵庫縣開拓地視察團 拉法より
△大分縣開拓地視察團 吉林より

明日の催し

(廿五日)
△土建協會々議 於國防會館午前十時
△開拓視察團會議 於國防會館正午
△無間勒署久舞補習 於西廣場厚生會館午後七時
△滿洲作蠶株主總會 於中銀俱樂部午前十一時
△協和會首都本部會議 於記念公會堂午後五時
△滿洲林業會議 於記念公會堂午後七時
△滿洲綿業會議 於記念公會堂午後一時
△協和會中央本部會議 於記念公會堂午後七時
△カフエー組合會合 於記念公會堂午前十一時
△大新京三業組合會議 於記念公會堂午後一時
△高田よしを氏洋畫個人展覽會 於寶山百貨店午前九時
△家具創作展覽會 於三中井百貨店午前九時

今晩の放送

▲七、三〇(新京)歌唱指導「滿洲國防婦人會の歌」吉田牧江他▲七、四〇(各局)滿洲だより第一報(大連、奉天、新京、哈爾濱、牡丹江)▲八一〇(哈爾濱)獨唱「燒かれた手紙」他(コントラアルト)キーラ他▲八、三〇(新京)講演「統制經濟の話」滿洲中央銀行副總裁大澤菊太郎▲八、五〇(東京)物語「青衣の姑娘」芦田正藏他▲九、三〇(大連)秋遊(…)

くろおず・あつぷ

原節子は、東寶入りした島津保次郎とずつと組んでゐる、近作には文部省推薦になつた「二人の世界」に主演、かんの良さはあり乍らまだまだ生硬な演技である、それだけに將來がありさうにも思へるのだ、「女の友情」「東京の女性」等の彼女は好評であつた

スタヂオ便り

▼……五所監督が文化映畫部演出課長に　松竹では大日本文化映畫製作所を松竹文化映畫部と改稱更に組織を擴大するが、之に備へて大船の五所平之助監督が文化映畫部演出課長に就任、今後は劇映畫製作の傍ら文化映畫部の新人指導、養成に當る事となつた

◇

▼……日活の新作「雛草夫人」　日活多摩川では内田吐夢監督のヘッド・アシスタント古賀聖人を監督に拔擢、第一作として土岐愛原作「雛草夫人」を映畫化する

◇

▼……南旺「團欒」十月開始　南旺の新作細田源吉原作「團欒」は目下千葉泰樹が脚本執筆中だが第一協團、東寶俳優連出演で十月早々撮影開始

なほ「煉瓦女工」は一部切除直に撮り直しの上檢閲を再申請する筈

◇

▼……新協十一名日活へ　日活多摩川では新協劇團員の思想健全なる中堅俳優、研究生中左の十一名が入社する事となつた

大町文雄・島田友三郎・大森義夫・伊藤晃英・小峰千代子・濱野すみ子・築地燦子及び研究生四名

◇

▼……日本小型映畫の標準型による兒童映畫の新作は同社の懸賞募集に入選した鈴木錦作原作「原作空の少年」を小林士郎の脚本で映畫化する

雜音

長春座をのぞく、ポリドール・ショウは期待はづれ、シンガーにとりたてて云々するべきものなく、タッパーはお粗末至極、バンドまた然りである、巨川蘭子とかの舞踊は鋼門きんと同列、お話にならない、比べると銀キネの石井春暉など、あの熱演ぶりだけでもかつてやるべきである、「或日の干潟」は藝能祭第一位の文化映畫、こんな程度のものが一位とはあつけないが、退屈させないユーモラスな味や、撮影現場を偲ばしたりしてゐるのも觀客に親しい感じでなかなかい、「木石」は退屈させられる、二時間餘に亘るのだ追川はつは不健康な感じで觀客を失笑させる、あのはかり知れない深い愛情が最後近くの彼女の告白、長い臺詞で説明されるのでは、觀客はだまされた様な感じだ、だらけた描寫の連續、五所平の失敗作、日本内地で好評だがとるべきは赤木蘭子の名技だけであらう

新方針發表
松竹、新興兩京都

劇映畫製作制限問題は、日活新興、東寶、大都の五社が一年四十八本以内、明年一月一日より實施と云ふ點に意見の一致を見たが松竹、新興の兩京都撮影所時代劇部はこれに備へ、左の方針を以て臨む事となつた

▲松竹京都　今後の製作は眞劍勝負に臨む覺悟を以て當り製作費は今後の一本は從來の二本分以上を使用、更に優秀スタッフには優先權を認めて優秀映畫を奬勵する

▲新興京都　質的向上に再檢討を加へ大衆の映畫といふ觀念から、映畫の大衆性社會性を製作面に生かすといふ積極方針に飛躍する

ロッパは理事
エノケン、評議員
俳優協會喜劇側決る

大日本俳優協會の新機構も羽左衛門の會長承諾に依り菊五郎、喜多村の副會長、吉右衛門の理事長、幸四郎の相談役等順次内諾し喜劇側の役員參加も五郎、古川緑波、生駒雷遊が理事の外評議員が左の如く決つた

榎本健一、大磯、泉虎、五一郎、渡邊篤、杉寛、柳田貞一、田谷力三、二三蝶

尚新國劇は役員詮衡中で之が決れば新俳優協會の役員は全部勢揃ひすることゝなり、今月末か來月早々總會開催の運びとなる

「山田長政」臺灣へ

東寶の二千六百年記念大作「山田長政」の第一回現地踏査隊一行は泰國の調査を終りこの程臺灣に到着して目下ロケ地選定中だが今月末歸京の上本格的準備に着手する尚同行した龜井、八木兩氏は泰國及び臺灣の記錄映畫を携へて歸る筈

▽帝都キネマ及川宣傳部主任二十二日夜内地へ歸省、約一ケ月の豫定

秋の樂界第一頁
哈爾濱交響管絃樂團
全滿大都市演奏會

昨年度日本名地を公演、色色と喧ましい批判を浴び乍らその熱意をかはれた「哈爾濱交響管絃樂團」はその後眞劍な勉強を續けてゐたが、今回全滿大都市演奏會が決定した、オールメンバー五十餘名に加へてバリトン歌手サヤーピンの特別出演があり、秋の樂界を飾る第一頁として大いに期待されてゐる開催地及び公演日は

新京……十月九日
大連……十月五、六兩日
奉天……十月七日
撫順……十月八日

曲目は

一、交響曲「新世界」ドヴォルザーク曲
二、バス獨唱…サヤーピン　歌劇「セヴイラの理髪師」より、ロッシーニ曲、他
三、交響曲「悲愴」チャイコフスキー曲
四、バス獨唱…サヤーピン　歌劇「スペードの女王」よりチャイコフスキー曲、他
五、組曲「胡桃割人形」チャイコフスキー曲
六、スラヴマーチ（チャイコフスキー曲）指揮シュワイコフスキー

豪華劇場
新北京に開館

北支、蒙疆各地に映畫館網の擴充を圖つてゐる華北電影では秦皇島の「秦皇島電影院」を九月一日から開館した外洋溢二番館であつた天津佛租界の「華安電影院」も目下大改裝中で中秋節を期し中國映畫封切館としてデビューさせるが、更に北京の「飛仙劇場」を十月一日から新北京に適はしい豪華館として開館すべく目下内外共大改修中である、同劇場は三階建で場内は總テックス張り、入口から場内までの通路は硝子張りで一脚廿五圓の椅子に機目なしのスクリーンといふ最高設備である、なほ現在の華北常設館數は邦畫廿七、中畫六十の計八十七館に達してゐる

「子供部」生る
物凄い出産率に
前進座の新制度

吉祥寺で集團生活を始めてからといふもの、前進座の出産率は物凄く本年は三人、來年には山岸しづ江の二度目のお目度をはじめとして、四人出産が豫定され、在來の建物だけでは收容し切れず增築を行つた程だが

現在ゐる廿數人の子供達をどう育てゝ行くかについて研究した結果「子供部」を座の組織内に創設することとなつた

子供部は今までの教育部から子供係を獨立させたもので、部長は鶴藏が兼任、幼兒から中學生までを入れ誕生から就學まで月十五圓小學生は廿圓中等學生廿五圓の手當が支給される

このためいくら月給の安い座員でも安心して國策線に沿ひ、産み且つ殖すことが出來る譯である

子供部の子供たちは一應前進座の第二世として教育、將來演劇人たらしめるべく舞踊や發聲等藝術的な基礎訓練を行ふが必ずしも當人の希望を無視してまで俳優にする譯でなく、中等學校卒業後は當人の自由意志に任せる方針である

この制度で鶴藏のところは長男が中學二年生だから廿五圓、右衛門は小學生二人で合計四十圓、國太郎は幼兒二人で卅圓、長十郎は十五圓の恩惠を蒙る勘定になる

浪曲大會　新京日々讀者優待券　銀座キネマ
天才少女　中山悦子
明朗浪曲　日吉川秋骨
青年浪曲　巴うの坊
廿六・七日午後五時半開演
一枚一名五〇錢割引

浪曲大會　新京日々讀者優待券　銀座キネマ
天才少女　中山悦子
明朗浪曲　日吉川秋骨
青年浪曲　巴うの坊
廿六・七日午後五時半開演
一枚一名五〇錢割引

進路と目標
滿鐵演劇研究發表會評

田邊澄夫

同好者相集ひ趣味として研究してゐるものである、社員慰安の一助ともなれば、とその挨拶にある、滿鐵社内にかゝる氣運のある事は前々から聞いてゐたが、誕生二ケ月足らずして第一回發表會を催したと云ふ事は、新しい、鋭利なる演劇集團の單なる誕生ではなく、廣く全滿演劇界への警鐘となる事を私は確信するものである。

さて、早速本題に入るが、先づ第一に豫定の正七時に開演されたと云ふ事は、アマチュアに有り勝の、時間的觀念の缺除を見せなかつた點で好感が持てた。

先づ最初に舞踊〃三番叟〃であるが、振付の變化のなさと固さが、單なるコスチュームプレイに終始してゐる状態で、これは第二部で行はれた〃正行〃にも當てはまる言葉として二人に、動から靜、靜から動への身體の動きに對する研究を望みたい、しかし、舞踊或ひは獨唱はあく迄演劇研究者の餘技であると私は思ふ。その點私は感服させられた。

次は、劇〃父〃であるが、第一幕は、科白少なく劇性少ないのは殘念である、演技のつたなさは特にその感が深い、又短い科白或ひは短い芝居であれば、それだけに暗示性（次幕への）を見せたものであつてほしかつた、暗示性のとぼしさは次幕への發展に對し尻切りとんぼの感深し。第二幕息子の動きと、お爺さんの科白にリアルな感じが出てゐたのは良く、只お爺さんが觀客を意識してか、客席を四六時中見てゐるのは感心出來ない科白は娘を除いて一般に通つてゐたのは諒とするも、村長の大芝居がかつたダイアローグは、娘の科白に對する散漫なダイアローグと共に研究の餘地あり、特に村長が息子の戰死を聞かせる娘とのダイアローグは盛り上りが少なく感銘の薄いものとなつたのは疑念、演技順を示せば、息子、お爺さん、娘、村長の順。

三幕、手紙を出したは仕方なしとするも、文よりの感銘は薄し、お爺さんの手を取り息子が案内するのに娘が後に從ふは感心せず、娘が案内役であれば先走り先に立ちお爺さんをいたはるべきである、こは惡し。裝置もまあ〱と云ふところか。第二部に這入つて、獨唱並びに合唱は音階をはづす者あり但しこれはあく迄餘興であると私は考へ度い。その際男女合唱前一部の者に野卑な彌次を飛ばす者あり、當夜大半の客は滿鐵人と見受けるが、同僚の熱心な演技に比べて何と云ふ低級さかと殘念に思ふ。次に〃曾我の對面揚巻助六茶屋場の段〃これは演出者のミスか、息子の父と、娘の父（お爺さん）の連絡にこのシナリオの良さがある、しかし安易さをねらつたのかも知れぬが幕の短かさは物足りなき感じを觀客に與へ、總體的に感銘薄し、コスチームは及第、お爺さん、息子は、助六、奴良潤。科白の研究を切に望む、現代的な間の拔けたダイアローグで失笑を買ひしは（最初に出た女達）劇そのものゝ企畫の罪か、演出の罪か、演技者の罪か再考を望む、演技者で第三部では〃木曾街道膝栗毛〃であるが諷刺味が加はれば立派。

總體的に、ヴァライティ（新劇、歌舞伎、喜劇）に富んだプロは、觀客を思つての爲か、又指導者に時代劇研究者の多い爲か、しかしその爲演劇研究會の進むべき道は、新劇か歌舞伎かと云ふ判然とした目標を示し得ぬ惱みあり。メンバーを充實、新劇的方向への進路こそ望まし、現に角第一回目の發表會としては上の部、熱心さを高く買ふと共に、次回公演こそ見ごたへのする立派な舞臺を見せると云ふことを私は確信して云ひ得るものである。次回公演を待つや切。（了）七・九・二十一

農業開發十ヶ年計畫 全貌を全聯で闡明

政府は日本に於ける農産物増産十ヶ年計畫に即應する計畫樹立のためさきに決定を見た十ヶ年計畫案の再審議が開始政府首腦者間にて部局長よりなる專門委員會を構成し協議立案を急ぎつゝあつたところ、日本新體制による農産物十ヶ年計畫の具體的計畫の闡明に伴ひ、滿洲においても同計畫に對應し新計畫を樹立することとなり、計畫も農業開發十ヶ年計畫に改編要綱案の審議を終り、來年度を初年度とする十ヶ年計畫の目標その他具體的計畫につき審議中でこれが全貌は十一月に明らかとなる筈であるが、廿三日の全聯第三日本會議席上に於いて政府側より闡明された同計畫案の基本方針は左の如くである

△增産目標の確定 農産物の相互需給計畫、適地適作主義を原則として目標を樹立する

一、農産部門
（イ）國內自給を目標とするもの 米、小麥、燕麥、大麥、洋麻、大麻、葉煙草、馬鈴薯、甘藷、蔬菜果樹
（ロ）國內自給はもとより國外輸出を目標とするもの 大豆、蘇子、落花生、高粱、包米、粟、蓖麻、麻、作蠶
（ハ）輸入の防遏を圖るもの 棉花、甜菜

二、畜産部門
（イ）役畜 牛、馬、騾、驢
（ロ）用畜 乳牛、豚、羊、山羊、兎、家禽

三、水産部門
（イ）淡水魚
（ロ）海産魚、溯河魚

四、林産部門
（イ）農村備林、ドロ、楡、イタチハギ

△耕地面積の擴張並に保持 可耕未墾地の能率的開拓に資するため實施中の未利用地調査並に利用區分の畫定、農地の造成及び水害防止施設の促進を圖ると共に開拓民による開墾及作付を增進し基本計畫に基き北滿未利用地の開發を促進する

△勞働の確保 季節的農業勞働の移動を防止するため他産業との勞力調整及國內全般に亘る賃銀の適正化を圖り農村勞力の定着を圖る、農繁期に於ける賦役徵用等は極力避ける方針をとり、學生學兒の組織的、團體的農耕作業をなさしめ婦女子の勞働を勸奬する、役畜資源の保護並に增産奬勵を行ふ一方、獸疫防遏の徹底、屠殺制限、飼養管理を行ひ役畜の共同利用を推奬する

△農業用資材の確保 農機具肥料、農業藥劑の普及奬勵及び配給の適正潤澤化を圖る、藥劑については特に國內自給を圖るやう措置する

△單位面積當り收量の增加 之が手段として土地利用の集約化（畦幅、株間の改良、二毛作、間作及混作奬勵等）農耕施肥法の改善及病虫害の驅除を徹底せしめると共に之に即應し輪作體型の確立、優良品種の育成普及施設、農具の優良普及を圖る

△優良種子の普及 優良種子による計畫的更新を行ひ得るやう採種系統施設を一層整備擴充し、種子配給の合理化を圖る

△資金の確保 低利資金の貸出を圖り貸出時期及貸與すべき農民等についても充分考慮を拂ひ必要なる農民に對しては行渡るやう極力する

△農村經濟の改善 （一）適正農産物價の維持及竝貸配給機構の改善（二）農民生活必需品配給機構の改善

△增産基本施設及指導機關の整備擴充 農事試驗施設、開拓研究施設、種畜場、採種圃等の系統的增殖施設の整備擴充を圖る

△精神運動の展開 政府・協和會、地方行政機關協力の下に一大敬農愛耕運動を展開し、これがため豐作祈願祭、新穀感謝祭等を實施し篤農家を表彰する等の一大國民運動を展開する

農産物統制 地方說明打合會終了

新穀年度對策に萬全を期し去る十七日から省公署會議室に於て開かれた濱江省における農産物統制地方說明打合會は廿一日の質疑應答を以て終了したが同會議出席者は省內各縣旗關係官竝に興農合作社及び專管公社、糧穀會社、製粉管理會社代表者等約六十名で五日間の會議日程は左の通りであつた

第一日＝源田次長訓示、農産物統制要綱說明、縣物動計畫
第二日＝特産物專管法、同施行規則案、糧穀管理法、同施行規則案の說明
第三日＝米穀管理法改正法案小麥製粉業統制法改正法案說明並に交易場法、同施行規則、同業務規定例の說明
第四日＝糧棧組合定款例、糧棧組合業務規定例並に油房組合例加工業組合例の說明
第五日＝質疑事項

農産物統制打合會

新穀蒐貨對策並に民食問題解決を中心とする農産物統制關係職員打合會は二十日離宮內職員訓練所で各縣旗實業股長興農合作社縣旗理事長、中央側より興農部、糧穀會社、興農合作社中央會、省側より農林科、殖産科、興農合作社聯合會、糧穀會社關係者列席の下に開催、廿四日まで續行される

豐滿右岸發電所 來月三日上棟式

第二松花江豐滿發電所は昨年末假堰切りを行つた左岸の基礎工事と共に本年四月より右岸に建設する發電所の工事に着手、この程鐵骨の組立をほぼ完了したので十月三日現地に於て上棟式を擧行することになつた、なほ同發電所に据つくる水車四臺の一部組立工事は着々進捗してをり、九年三月までには堰堤工事の完成に伴ひ一部發電を開始し得る見込である

滿關貿易關係者懇談會

過般東京に開かれた圓域貿易調整會議の結果に基き滿關貿易當局ではこれが實施につき着々準備を進めてゐるが滿關貿易の一體的運營につき民間側の積極的協力を要望し來る十月二日新京記念公會堂に滿關關係業者の懇談會を開き當局側の意圖を說明すると共に民間側の意見を聽くことゝなつた當日は經濟部、關東局、生必會社、纖維會社、專管公社、穀粉會社、全滿商工公會等の關係機關代表出席する豫定

蒙疆鹽源調査團を組織

【張家口廿三日發國通】興亞院蒙疆聯絡部並に蒙古政府産業部では蒙古平原に眠る無盡藏の鹽源を探究すべく豫て調査準備を進めてゐたが、今回大藏省專賣局野口技師を主班とし興亞院蒙古政府の技術者からなる第一回蒙疆鹽源調査團先遣隊は廿二日張家口を出發した

今回は主として察哈爾盟ならびに錫林郭勒盟に點在する鹽池の實地調査を行つて廿九日頃歸還の豫定であるが、更に京包線沿線の鹽塊の調査も行ふ計畫で兩當局ではこれらの調査結果に基き湖鹽、土鹽等蒙疆産鹽現在の出廻り狀況、製鹽方法、消費狀況等を仔細に檢討のうへ家庭製鹽の域を出ない蒙疆鹽の近代的企業化に着手、疆內需要鹽の自給自足對策を講ずる計畫である

滿洲甘草收買 天産會社に一元化

滿洲甘草はすべて對日向けとして輸出され昨年は約三百萬斤二百萬圓の輸出を見たが、國內に於ける蒐荷收買方針が一定せず各業者が自由に收買し輸出を行つてゐたため日本業者或は中間業者の利益するところとなり延いては生産方面にまで惡影響を及ぼすことが豫想されるに至つたので、政府はかねて一貫した機構の確立を企圖してゐたが、この程興安西省の一元的機關として滿蒙天産開發會社を指定するとともに本年度の甘草收買價格を左の如く決定し、來春の出廻期迄適用することとなり龍江、興安西、南、熱河省等各關係省に通達した

△甘草收買價格

等級	新斤當	長さ	直徑
一號草	一三錢	二尺	四分五厘
二號草	一〇	一尺五寸	三分五厘
三號草	八	一尺	二分七厘
四號草	七	五寸	一分五厘
格外草	五	端尺物、若干不良物	

（イ）使用尺は新度量衡法に依る滿洲尺
（ロ）直徑は全長の中央部に於て測定
（ハ）端尺品は等級を一級格下
（ニ）收買は乾燥度合、撥出諸掛を考慮する

なほ對日供給價格（販賣價格）については日本側商工省及び各業者と打合せを遂げるため興農部より關係官が三、四日中に東上折衝を開始するが、現在の一等草百八十圓は安値にありとし滿洲側は値上げを主張して居り、日本においては甘草は漢藥その他藥用として缺くべからざるものであり、相當程度の値上げは確實視される

商況（廿四日前場）

海外經濟市況

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二三片二分一
同 先物	二三片一六分七
紐育銀塊	三四仙四分三

外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗〇四仙〇
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	五弗三五仙
英日爲替	一志二片二分一
英支爲替	三片一六分一
英佛爲替	—
米獨爲替	三九仙九五

紐育株式

品目	相場
スチール株	五九弗三分三
アナコンダ株	二三弗二分一

紐育棉花

品目	相場
現物	九仙九〇
十月限	九仙五一
十二月限	九仙五〇
一月限	九仙四一
三月限	九仙四一
五月限	九仙二三
七月限	九仙〇二

印綿

品目	相場
ブローチ	一〇一留比〇
オムラ	一七八留比四分三
ベンゴール	一四三留比四分三

各地株式市況

東京株式（短期）　[illegible]

大阪株式（短期）　[illegible]

大連株式（短期）　[illegible]

各地商品市況

大阪綿布　[illegible]

大阪棉花　[illegible]

大阪期米　[illegible]

大阪人絹　[illegible]

橫濱生糸　[illegible]

金魚酒

滿鐵にゐる天野元之助氏が「支那農業經濟論」上卷を出した、七百餘頁の大冊である▼氏の多年にわたる支那農業經濟についてのたんねんな研究がこゝに一つの結實を生み出してゐるのをわれわれは見得るであらう▼尤も、用紙擁底の折りである、かなり惡質の紙を使つてゐて七圓五十錢といふ定價は少し高過ぎる、天野氏が使つてゐる貴重な資料に比ぶればそりや安いものだらうけれど……

腕づく半次（42）

中川雨之助 作　西正世志 畫

悲戀に亂れて

「えッ」

半次は少なからず間誤ついた。が、病人に逆つては、と思つたので、ソッと其手を握つてやつた。

「あゝ、嬉しい……」

その手を、ブルブル顫はせながら、お藤は、嬉びに、心を波打たせた。

しかし、嬉びながら、ほろほろと泣いてゐるのである。

「お孃はん。どうしたと云ふんだ。しつかりしなくちや不可ねえ。はゝゝゝ」

半次は、苦笑するより外は無かつた。

「妾、何もかも罪亡ぼしに言つてしまひたい。後生だから半次さん聞いてお呉れ……」

お藤は興奮して、目もとをボーッと赤く染めて居る。

お藤は、今まで心の底に蟠まつてゐた一切の秘密を、總て半次に打明けてしまつた

「半次さん、妾はお前さんを心から慕つてゐた。そのお前さんに、お內儀さんや、子供があると聞いた時、どんなに妾は悲しかつたでせう。その悲しみにつけ入つて、あの平太さんが……」

と、こゝまで言つて、さすがにお藤は口ごもつた。

その平太の爲、無理無態に手籠にされたあの暴風雨の時のことを考へると、いまでも悲しくなるのであつた。

「でも、妾は、もう平太さんを怨んではゐない、子供を産んで、親子三人、睦まじく暮す日の、早く來るやうにと、それればかり願つてゐた。それが、妾たちに、神さまのお與へくだされた運命だ、と思つてゐた。それだのに、その平太さんは、妾を殘して死んでしまつた……」

心は、またも悲しみに攪き亂れて、お藤は泣崩れるのであつた。

枕もとに居る半次の胸も、傷らしさに、かきむしられた。

彼は平太が憎かつた。

「親分のお孃はんを手籠にするなんて、俠の世界に住みながら何といふ量見の汚ない奴だらう……」

思はず齒嚙をするのであつたが、しかし、考へてみれば、その平太は既に此世の人で無い。

そして、一通の遺書に、過去の罪を詫びて死んだのではないか。

「臨終の際に、俺の手を握つて、どうかお孃ばんのことを賴む……といつた、あの一語に、千萬無量の悔恨が含まれてゐたのだ」

さう思ふと、徒らに、平太を怜むばかりでも無いと、考へ直されもする。

「さうだ、お孃はんの言つた通り何もかも、神さまの御心だ。さう思つて、諦めるよりほかに、仕樣があるものか……なあに、お孃はんには半次がついてゐる。親分の敵を討つて、もう一度、もとの竹の塚一家に、立て直さなくちやならねえんだ。そのつもりで、お孃はんも、心を確かり持たなくちやいけねえぜ」

半次は、さう言つて、お藤を慰めるのであつた。

そして、其日から、お藤はピッタリと病の床についてしまつた。

別に、何處が惡い、といふほどでは無いけれど、日に日に力が衰へて行つて、一人になると、いつでもシクシクと泣いてばかりゐる。

半次は、ひどく心配して、それから後といふものは、殆んどつき切りで介抱をした。

野呂勝も、一日おきぐらゐに、見舞に來たので、半次を扶けてともどもに介抱した。

すると、或日のこと。半次と野呂勝と兩人が、居ると、いまゝで、靜かに眠つてゐたと思つたお藤が、急にムックリ寢床の上へ起き直つた。

九星

水曜 九紫 辛未 月八 先勝 廿日 開 五四 壁宿 東京・本郷・神誠館

●一白の人 鐵も研けば針となる何事も辛抱が第一たり 西と乾と東が吉
●二黑の人 平和なる割合に存外事の運ばざる日焦るな 南と乾と西が吉
●三碧の人 突飛な事に手を出して大失敗し易き注意日 北と南と巽が吉
●四綠の人 午前は大丈夫なれど午後は萬事手控すべし 北と南と東が吉
●五黃の人 我意に募りて成るに近き事を破ることあり 南と艮と乾が吉
●六白の人 道は遠くも荷は重くとも努むれば必ず達す 坤と艮と北が吉
●七赤の人 悅びあり氣緩みせぬやう注意して働くべし 艮の乾と北が吉
●八白の人 秘事外に漏れて不利を招く和合が專一の日 南と乾と辛が吉
●九紫の人 初は吉終は凶に行けば戾に災あるべし 丙と乙と艮が吉

滿洲の農村生活（上）

段實堃

御存じの通り滿洲國は農業立國であつて農民は全人口の九割を占め農産物は國の生産品の最大のものであり又對外貿易の主要なるものであり、從つて滿洲は農村の上に立つてゐると云ふも過言ではないと思ふ。吾々は滿洲の農村事情に付て熟と研究し、一方に於て國策の農村浸透を圖り他方に於て農民をして國策の線に沿はしむるやう努力すべきであつて、それには先づ農村に對する認識をはつきりせねばならないと考へる。

○

元來滿洲農村は天然の自然條件を背景に出來上つたものである。その農村構成分子たる農民も自分の經濟的條件を基礎として永住の地と定むるものであつて、農民が農村を愛することは都市の市民が都市を愛するよりも更に切實なるものがあるのである。一口に云へば農村は住みよき所であり農民は親しむべき者であり其の純樸、誠實なる所は日本農村とあまり變る所はないと思ふ。

農村に於ける農民の生活狀態を見るにこれこそ至極簡單に出來て居て着物は殆んど全部濃紺乃至黑色の木綿で單衣給、綿入の三枚位で間に合つてゐる。膝の下迄届くやうな長い着物を着用するものは大抵その村の顔役か相當の資産家で其他は全部短い上着とズボンである。これは非常に滿洲の土地氣候に合つてゐて夏は涼しく冬は溫かく出來て居る。食ふものは所に依つて違ふが南滿一帶は高粱を主食とし、北滿一帶は粟や高粱を食べ所に依つては玉蜀黍を主食とする所もある。副食物は自分の野菜畑から出來た野菜とそれに漬物だけである。此中の味噌は大豆を原料とし麴からくしたもので非常に榮養價を持つて居り此の味噌は農家に行けば何處の家でも大きな甕に一杯造つて居る。その中に胡瓜や大根等を漬物に！卵を鹽漬にするのは何處でもやつてゐる。これは鶏の卵でもアヒルの卵でもよろしいが相當濃い鹽水を作りその中に卵を入れて漬け込む。一ケ月位經つてから之を取出して茹で食べるのである。白味は頗よい鹽味を帶び黄味の所に油が滲み出て實に風味のよいもので、箸をチビリチビリやりながら此の玉子を箸でつついて食べる心地よさは蓋し日本の方にはわかるまいと思ふ。

○

一日と十五日は大抵の家は

會は舊正月位の所になつてしまつた。家屋は一般に草葺で大抵四間になつてゐる。壁は泥煉瓦で築き相當厚くし中にオンドルを作つてある。竈から出た餘熱はオンドルの中を通つてオンドルを溫め、一日田畑で働いて疲れきつて歸つて來ると溫かいオンドルに腰ついて樂しき夢を結び翌朝になるとすつかり元氣になつて起き上る。日本内地の方ではお風呂に入つて一日の疲れを流すが、滿洲ではオンドルに入つて身體を溫め血液の循環を盛にし新陳代謝の作用をするのである。一般に便所の設備はなく大抵野天でやらかす、それを犬や豚が御馳走とばかり人間の排泄物にぱくつく所がその豚を殺して人間が又食ふやうな循環をやつてゐる人間の排泄物を食べてゐない豚の肉は不美味と云つてゐる所もある。

○

農村では春夏秋冬四季を通じて相當忙しい。春になつて一陽來復の頃には先づ自分の家の門の兩側に堆積してゐる肥料の積換へをやる。面白い習慣として農家の財産狀態を見るには先づ此の門の兩側に堆積してゐる肥料の山の大きさを見れば解ると云はれその山の大きい家は富裕で、それのない所は貧農とされてゐる。つまり此の肥料の山は農家の資産表示の標準のやうなものである。暫くすると之を自分の耕さんとする畑に運んで行く、春の末夏の初めに耕耘に取掛り、播種、除草二、三遍の手をかけて八月の夏末、秋初めになつて初めてその實るのを待つやうになるが九月一杯十月にかけて愈よ收穫期になると今度は脱穀、集荷、入庫それから交易場に運んで賣るといふ工合に一年を通して閑な時期は、穀物を賣つてから一冬の冬籠りである。此の冬の間は活動好きなものは薪を集めたり馬糞を拾つたりするが大抵はノウノウと遊んで過す、此の時期を利用して農民の教育なり啓蒙なり訓練なりに利用すれば大變有意義ではないかと思ふ。

日本の方の御考へでは滿人の女は働かないと考へて居られる人もあるやうだが農村では決してさうした風習ではなくイザ農繁期になれば一家一村總動員して畑に出る除草や棉花の摘取など女が多く働く見渡す限り眞白な棉畑の間に赤や青の着物を着てゐる女が一生懸命に働いてゐる點綴風景は實に美しいものである。【筆者は興農部農政司合作社科長】

風聞ろく

滿洲文話會賞銓衡委員

本年度滿洲文話會賞銓衡委員は左の十氏に決定した

古丁、陳松齡、季守仁、木崎龍、宮井一郎、町原幸二、城小碓、高木恭造、山田淸三郎、大内隆雄

時事解說　衆議統裁とは

日本の議會での議決方法は多數決であり、賛否同數なる場合は議長これを決することになつて居る、この方法はあらゆる會議で最も公平な採決方法だと今迄信ぜられて來た。ところが滿洲國の協和會全國聯合協議會では多數決主義をもつて自由主義の遺物であるとし、當初滿場一致制を採用してゐたが、いろいろと字義からいつて不完全な點があるので昨年の全聯より衆議統裁なる採決方法を採るやうになつた。

これは協和會が世界に始めて獨創したものであつてその運用上の效果は全體主義的國家に於ては極めて大である。衆議統裁に於ける議長の權限は多數決、滿場一致制のいづれよりも大であり、代表が小異を捨てて大同につくといふ意味を明らかにしたもので、この場合議長は哲人的指導者の立場に置かれる。

昨年の全聯で橋本中央本部長の宣明せる「衆議統裁の眞義について」に依れば

一、議案の採決に當つては質的效果を期待し個人の總和乃至數量に依らず超個人的意志を顯現するにある。

二、採決の基準を協和會の至高目的たる道義世界建設に置き、建設的結論を求め、國家意志の決定は協和會においてはかゝる目的意識に綜合一體化される。

三、衆議統裁は東洋人の人間性に根ざすものであり、家長部落長が團體を指導すると同樣「大和」への精神的歸一である。

四、議長は練達、公正、大局を達觀し得る知見と指導者たるに相應しい閲歷聲望を絶對に必要とする。

五、衆議統裁は獨裁に非ず、多數決にあらず、個人生活より共同生活へ、共同生活より國家生活への會運動に於ける實踐意志の顯現であるとその眞義を明らかにしてゐる。

東亞聯盟と民族協和（3）

伊東六十次郎

九年間の體驗は吾人に此の義理人情即ち滿洲在住の日本人が其の本國を眞實に愛する如くに滿洲在住の漢人、蒙古人、ロシヤ人其の他が其の本國を眞實に考へる彼等の民族的自尊心或は愛國魂を無視しては民族協和の實現は不可能であることを切實に痛感せしめた。

日支本國の戰爭しつゝあるときに滿洲在住の漢民族は如何にして民族協和の主張に釋然たり得やう、南京陷落の日滿洲國の旗行列に參加した滿洲在住漢民族の子弟の歸宅すると共に其の切實に愛する母國の首都の陷落に悲憤の淚を禁じ得なかつたと謂ふ。

×

「我身を抓りて人の痛さを知れ」と謂ふ如く滿洲在住の日本人が眞實にその母國を愛ふるならば滿洲在住の他の各民族にも切實にその母國を愛するの義理人情あるを知れ、義理人情を無視して何處に皇道政治王道政治の實現が在り得やう。

斯樣にして九年間の體驗は滿洲在住の各民族の本國を無視する限り又、其の本國の關係を公正ならしめざる限り民族協和の完成の不可能なることを痛感せしめ、斯くて民族協和の主張は東亞聯盟の結成運動へと進展せざるを得なかつたのである。

×

東亞聯盟の結成は民族協和の主張の擴充である。即ち東亞諸民族を糾合して對歐米の最後の世界的爭霸戰に當らんが爲の企圖の擴充に他ならぬ滿洲事變前後に於ける民族協和は軍閥の壓制を排除して各民族をして公正なる發展を遂げしめる爲の社會正義としての主張であつた。然るに建國後に於て日本軍駐屯の威力に依り虎の威を借る狐の行動を以て日本民族の優越性なりと誤認し、此の誤認したる優越感を去れと謂ふ民族協和の主張となつた民族は最早民族協和の口號に魅力を感じないやうになつたのである。興の道を踏んで亡あり、亡の跡を追ひて興あり、協和會創立の當時「今日以後、日本が政治的權力支持の下に滿洲國に於て漢民族と爭はんとするが如きは自ら支那軍閥を模するものにして、斷じて東亞の王者として白人との決戰場裡に立ち得る氣宇ありと稱する能はず」と同志運動の前途を戒められた先覺の至言は今更の如く身に泌みて痛感させられるのである。

豁達なる協和とは公正なる競爭を意味する。在滿各民族の間に公正な關係を設定して舊軍閥時代に於ては權力を以て歪曲されて居た各民族の生活を軍閥の權力から解放し、其の結果各民族が滿洲國に對する信賴を持ち得て始めて眞の民族協和が實現されるのである。殊に各民族の本國に於ては各其の國家の主權の儼存する結果、他の民族は其の國の官吏、軍人、議員たり得ないのは普通である。

然るに滿洲國に於ては各民族とも各主權國民として日本人も朝鮮人も漢人も、蒙古人も露人も均しく其の官吏、軍人議員となり得るのである即ち各其の本國に於ては袴を着て交際して居る東亞諸民族が滿洲國に於ては袴を脱いでお互に主權國民として民族協和の獨立國家を經綸しようと謂ふのである。此の滿洲國に於て各民族の間に公正な關係（取扱）が設定されて、相互の信賴が增進し、其の結果として豁達なる協和が實現し得るならば滿洲在住の各民族の本國が眞に信賴し提携し得て東亞聯盟の結成が成功するのである。此のときに於てか歐米勢力はシンガポール以東に於ては東亞各民族に干涉し得ざるべく東亞各民族は其の實力を背景として面積は支那本部よりも大にして人口は六百萬に過ぎざる濠洲に移住權を要求し、濠洲に第二の民族協和國を建設すべきである。

×

斯樣に北方に於ける第一の民族協和國である滿洲と南方に於ける第二の民族協和國である濠洲とを中軸として、日本、朝鮮、支那、蒙古、正教スラヴ、安南、東印度等の諸民族が各自己の民族的自尊心或は愛國魂を尊重されつつ相提携協力して對歐米との最後の決勝戰に臨み得るであらう。東亞聯盟結成の世界史的意義は此處に存在するものと謂ふべく、東亞聯盟結成の根本條件たる「政治の獨立」の眞意義も亦斯る見地に立ちて始めて明確ならしめ得ると信ずるのである。

二題

湯田靑虎

○砂

晴き空は藍色の海をつゝみ
冷き息吹はわが身をおふ。
されど
なぎさの砂の暖かさよ
白晝の香を失はじ。

○苦力

やける舗道で
黑い垢しみた顏に
開けて眠つてゐた。
並らびの惡い黄い齒の口と
平和で幸福さうな白い眼を

自由律俳句

支那街の騷音となつて夏がちつともおとろへない　直村雪人

今日は自分のからだであつて秋晴れてゐる
全くその通りです、柳ばかりです野
こんじきにからむはみどり、みほとけともあらうを（天地佛）　小倉圓平

抱いて膝がしらの貧乏ゆるぎする蕈がほこりそめてゐる
すつと虹が、くさめおとしてゆく　大辻柳甫

「科爾沁旗草原」を讀む

緑地帶

端木蕻良の作品は、どれもが麗はしい詩情に滿ちてゐる。最近彼の長篇「科爾沁旗草原」を讀んで私はこの感を深くした。彼は自然描寫の天分を有するのみならず、人間の性格を描き出す手腕を持つてゐる。美しい描寫とともに、彼は我々に力強い感銘を持たせる。

これは千餘枚の長篇である。物語は滿洲の科爾沁旗の首戸丁家を描いてゐて、丁氏が關東に逃げて來てから丁四太爺、丁大爺丁寧に至る三代の大家族の事を描いてゐる作者は後記に

「こゝには小さな旋風、西門慶、杜少卿、土地の吞併、官吏の收賄、投機、高利貸、商業資本敗壞、利削、綁票……がある。彼等は宿命論者で風水を信じ、家族の多いことを喜ぶ、しかも生活は放縱で、狂亂し、神經病的である……」

と書いてゐるが、まさにその通りである。

彼には小さな缺點もある、自然の美を過度に描いて人物と結合せしめてゐない。題材が餘りに複雜であるために、前後の連絡が失はれてゐる、讀者の感銘を築す。

作者は滿洲出身の青年である、大部分が鄕土を素材とし、加ふるに作者の正しい世界觀を以てしてゐる。彼の作品が讀者をひきつけるのも理由のないことではない。開明文學新刊、一九三九年發行である。（山丁、T・O譯）

課題リレー　野球精神

【第二十回】古海忠之氏（談）

野球は十年もやつてをるから漫談にしろ感想にしろ理論にしろ無限にある。五分や十分で話盡せやしないよ

……利といつてをる。』

×

然しそれをどういふ風にして勝つかといふことになるが勝つとか何とかいふ勝敗について選手は絶對に拘泥してはいけない。然し戰は勝だ。男子の意氣勝たんかなでいけば勝つ。又勝つために萬全のことをやる。

×

世間ではよく間違へて考へてをるが、スポーツといふものは觀衆あつてのスポーツだ。野球でも數千、數萬の觀衆がゐてこれをフエヤープレーの精神に觀衆を全部引摺り込むだけの熱情をもつてゐなければならぬ。野球を觀るものをしてフエヤープレーの精神の中に吸收させることが選手の使命である。

從つて九人の選手が大きなグラウンドを占領するといふ觀念でなく觀衆と選手と一丸となつて全部のものがスポーツの世界を形造るべきであるさういふ點を世間が間違へてをる。

×

これは自分のジョイメントとしてもつてゐるが、選手も又民衆のスポーツとしてそれだけの精神をもつてゐなければいけないと思ふ。次は誰か

「白色地帶」を探る（6）

柏木陽一郎

東岡から漫江、漫江から靠沙河へ、行程百粁の謎の樹海を默々と歩み續けた。落葉松の林が盡きると白樺の林白樺の林をぬけると朝鮮松、トウシラベ、アムールミナノキの鬱蒼と繁つた林が目の前に迫つてゐる。日の光は密林に遮られて屆かず、薄暗い木下道を、疲れ切つた足をひきづりながら歩み續けた。一つの山を上り切ると急にと明るい草原に出た。アヤメ、赤ベラ白ユリが目もまばゆきまでに咲いてゐる。この地ならでは見られぬこの花園こそ自然の公園として勸めたいほどだ。

吾々は驚嘆と歡喜のひとみでじつくりと眺めた。花畠につゞいてしばらく平坦な稜線がつゞいた。吾々は知らず識らずのうちに千五百米の高地を進んでゐるのだ。こゝまでくると天候もあてにはならず雨が降るかといらいらしてゐると急に天氣になり、用意した天合羽をしまふと小雨が降る始末、ずぶぬれになりながら默々と歩み續けた。

二三人して手のとゞくと思はれる白樺の大木が限りなく續いてゐた。密林の彼方、此方に森林伐採小屋と思はれる匪賊の山寨の跡が彼等の燒き拂つたものであらう寂しく跡をのこしてゐた。千古斧鉞を入れぬといふこの大樹海は見渡す限り一望千里の壯觀であつた。白樺の林を最後に再び限りなき花園に出た。あゝなんといふ壯觀さか、足は一歩一歩と進みよる。

撫松を出て五日目、吾々は山麓の溫泉に着いた。この地をベースキャンプとして山頂を目指して出發することになつた。

昨夜から降り續いた雨も漸く霽れたばかりで、東西四粁もある草原は降雨のために水田と變つてゐた。膝までつかる水田の中を雜草をおしわけ霧が深いのと、匪賊の慰安場所であるこの地帶を、あたりに氣を拂ひつゝ山頂へ山頂へと歩みつゞけた。一行は二、三人前の人影すら見えぬ霧の中を討伐隊、警護隊、調査隊、青年隊の順で默々として登つて行つたが突然前方で銃聲が聞えた。誰かゞ匪賊だと叫んださすがにその時は一同が叢の中にうち伏せになつてゐた。十分、二十分、三十分靜寂は續いた、併し誰も頭をあげやうとはしない。やがて前進ラッパが鳴る。語る者もなくユタリユタリと歩き始めた。あとで聞けば黑熊が二頭現れたのださうだ。胸のつかへるやうな激しい急坂を寒さと戰ひつゝ登ること八百米、高い樹木はすつかり影を潛めて廣い草原に出た。この草原をグサリグサリと踏みつゝ平坦な尾根にそつて進むに從ひ髮の氣もよだつやうな寒さの中を足にまかせ歩みつゞけた。

左右を鋭い刄物で削り取つたやうに峨々たる絶壁を辿り遂に午前十一時吾々一行は白頭山頂を登攀したのだ。この感激、この喜びに思はず君が代を合唱したとき霧の晴れゆく山頂はいとも美しく目前に展開した。一望千里の大樹海や鴨綠江の流れが雲のやうに尾を引いてゐる。歩みつゞけた五日間のたどりきし數々の思ひ出にふけるとき瞼には暖い淚が宿つてゐた（完）

白拍子（4）

泉微雄

やがて、第二の使者に續いて、佛はまるで見合の席に出る處女のやうに紅潮した頰をうつ向き加減に、淑やかに足を運んだ。

入道相國は肘掛に倚掛り乍ら、盃を下すと、ほんのりと紅のさした面を上げ、

「今日は其の方を呼ぶつもりではなかつたが、祇王があまり奬めるから呼んだのだ。今樣を一つ歌つて聞かしてくれ」

佛は、恐る恐る眸を上げて御簾に緋の下つた入道相國の顏を見た。そして、もうすつかり自分の美貌に魅せられてゐる入道相國を感覺で讀み取ると、つとめて嚴かに「承知致しました」と言ひ乍ら、すぐ姿勢を構へた。

君をはじめて見るをりは千代も經ぬべし姫小松

佛の聲は鶯のやうに冴え渡つた。入道相國は眼をつむつて聞き惚れた。うたひ自慢の祇王、舞ひ自慢の祇女でさへ思はず我を忘れた程である。

御前の池なる龜岡に、鶴こそ群れ居て遊ぶめれ。

に、次に來る入道の言葉を、今や遲しと待ち構へた。

「其の方は今樣はなかなか上手だ。此の調子なら舞も餘程上手いだらう。一番見たい。祇王鼓を打つてくれ」

入道相國は、祇女にささせた盃をゆつくり傾けると、佛の顏に醉眼を送り乍ら、ほとほと感じ入つたやうに言つた。

佛は、勿論容貌もさる事乍ら、舞は最も得意とする所であつた。澄み切つた聲より、尖端的な舞にかけたら、どんな上手にも勝つて見せるといふ自信を持つてゐた。

佛は、自分の計畫が、[illegible]に反して意外な方向から成功の一途を辿るのを見て、聰明な頭腦で、一度反省する必要を感じた。

そこで、

「これは身に過ぎたお言葉で御座います、もとより私は自分から進んで參りましたのに、祇王御前のお情でこそ、貴方のやうな高貴なお方の前

世紀の英雄（159）

番伸二
高田よしを畫

千振鄕（十三）

式が濟んで、どやどやと千振神社から出て來た人々の中に、塚田源太郎は、ふと秋田村の濱田敏子の姿を認めた。

「濱田さん。お手傳ひですか」

と呼びかけると

「ええ。良人の知合の者が今日の式に混つてゐるんです」

「混つてる……。こりやア面白い」

といつて、二人は思はず笑つてしまつた。

結婚式も、かう大勢一遍に擧げるとすると、その中に花聟なり花嫁なりが混つてゐると云ふ具合になる。

二人は、歸り途を勃利街道まで一緒に歩きながら話してきたが、

「塚田さんの結婚式のときはわたし、女蝶男蝶になつてお盃を運びますわ」

「有難う。その節はお願ひします」

と冗談めかしてしまつた。

「本當に、奥さん、お貰ひになりませんの」

「昨日もね、吉川君が來て、そんなことを云つて行つたんですが、僕なんか、まだ先きのことですよ」

「まア、そんなことありませんわ、もう内地に決まつた方でもいらつしやるんでせう？」

「内地には……妹がゐるんですが……」

塚田源太郎は、昨日書きかけの手紙の事を思ひ出した。

もし、妹の美惠子が幸せに暮らしてゐるのならいいけれど——さうでなかつたら、是

らう。

「ねえ、濱田さん。僕の妹も東京でデパートに勤めてゐるんですが、此方へ呼び寄せたいと思つてるんです」

「まア、女店員してらつしやるんですか。ちや、わたしと同じですわね」

「さうです。それで、あなたを見るにつけても、妹のやつきつと千振へ來ても、うまくやつて行けるだらうと思ふんですよ」

「でも、無論こちらへ、お呼びするつて、花嫁としてでせう」

さうだ。移住權には「大陸の花嫁」として以外に女性は入れないことになつてゐる

「ねえ、濱田さん、女の人から見てあの吉川茂次君なんかはどう思ひます」

「さうですわねえ……」

と敏子は一寸考へてゐたが、

「あたし、あの方は立派な方だと思ひますわ」

「僕も、さう思ひます。これはここだけの話ですが、僕は妹を吉川君にやりたいと思ふんです」

「さうですねえ。そりやあ結構ですわ」

と濱田敏子は心から贊成してくれた。

「勿論、僕だけの考へですから、これは、どうなるかわかりませんけれど。——吉川君にも妹にも、まだ何にも話してゐませんし、當人同志が果して何て言ふか、わかりませんからね」

「さうですわ。かう云ふことはお兄さんの獨斷ではいきま

ふるさと便り

【岩手】愈よ出廻つた九戸郡山形村産の松茸は最近まで一貫目百圓であつたが、過般の雨のため澤山とれすぎて二十圓の暴落してしまつた。

×

【新潟】先日新潟市で開催されたグライダー大會に、故佐藤代議士夫人よう子さん（五二）が出場、みごとプライマリーで滑空して拍手をあびたが、五十をすぎた老女性が、グライダーに乘つたのは全國でも初めてらしい。

×

【岐阜】加茂郡三和村地方は今年はどうした譯か、猪の害がひどいので、愈よ近く大がかりな猪退治を行ふことになつた。

×

【福島】岩瀬郡濱田村濱尾有我二さん方から八十年前のお米が八俵發見されこんな時使はなくてはと早速政府へ供出米とした。

落下傘　逞しき樂觀主義の提唱

若し何處かの試驗に「『新體制』について」と言ふ問題が出たとしたら滿足な解答を書けるものが幾人あるであらう。恐らく萬點を探る答案は何人と雖も書けないのではなからうか、それ程抽象的な言葉でありながら併もこの「新體制」いふ言葉は凡ゆる具象的な意味を含めて現代ヂャーナリズムの上を横行してゐるのである。「微苦笑」といふ言葉が久米正雄の創造語である如くこの「新體制」は日本に於ける近衞公等の新政治運動に冠したヂャーナリズムの創造語であると言はねばならない。

從つて現代ヂャーナリズムに現れる「新體制」は總てこの近衞新體制を指すものであり既成政黨形態に對する時局適性的政治機構の出現を意味するものである。「新體制」の國語的解釋は言ふ迄もなく〃新らしい體制〃であり何等の對象をも持たない抽象的語句に過ぎないのである。即ち「新體制」自體には獨立性はなく名詞と接續して始めて具體的意味を持つことになるのである。

この外「新體制」に併行して最近のヂャーナリズムに躍るものに「難」といふ言葉がある。「交通難」「住宅難」等はその最たるものであらう說明する迄もなく「交通難」は交通機關の過少に依る交通の不便を意味し「住宅難」は人口に比例した住宅の拂底を指すのである。

斷つて置くが私は今此處に新聞用語の說明を試みやうとするのではない。唯私の言はんと欲する處は之等の創造語を生み出した現代ヂャーナリズムの動向についてである。新聞の使命がその卓越せる普遍力を前提として正しい輿論の嚮導にあるとすれば斯うした用語の上にも深甚の注意を必要とするのではないかと言ふことである。「新體制」と言ふ言葉は兎も角として「難」といふが如き言葉を無暗に用ふるのは果して現時局下に於けるヂャーナリズムの正しい行き方であらうか。殊に刻下の如く國家の方針が或程度迄批判を許さない時代に於てはたゞひたむきに大衆を定められた方向に歩かせるやうに仕向けて行くのが新聞として正しい行方ではあるまいか。

私はその意味から現代のヂャーナリズムに〃逞しい樂觀主義〃を提唱するものである〃逞しい樂觀〃……〃そこにこそ時局に即應した建設的ヂャーナリズムが生れ出るのだと思ふのである（富士眞砂緒）

邦人教育改革は寄宿舍中心へ

岩松部長 全聯で方針明示

在滿教務部岩松部長は在滿邦人教育のうちでも開拓地子弟教育を頗る重視し開拓地教育の確立については凡ゆる方策を考究しつゝあるが、全聯第四日の開拓團子弟教育に關する懇談會に際しては着任後最初の全聯であり是非出席して現地の意向を充分聽取したいと折柄奉天で擧行中の中學校續書を參觀中であつたが、奉天から開會時間の延期方を依頼して來たので代表側でも岩松部長の熱意を諒とし午後二時開催豫定を繰り延べ五時廿分着のあじあで歸京、汗を拭きながら馳せつけた同代表を待つて五時廿分から開會出席者皆膝を突き合せる樣にして和やかな家族會議風景を展開在滿教務部、代表共に滿足すべき成果を收めたが開拓地教育の癌である學校寄宿舍經營の改善について席上臨部（三江）小林（吉林）立川（東安）の各代表から滿洲國政府及び學校組合側に經費負擔方を要望したのに對し岩松教務部長は

在滿邦人教育については寄宿舍經營を中心とした學校教育に漸次改革して行く積りだ、わけても開拓地學校の寄宿舍經營は出來るだけ早く各方面と折衝して教務部の補助によつて經營する樣努力したい

と在滿邦人教育方針が寄宿舍經營中心主義にあるといふ教務部今後の新方針を明示し注目を惹いた

醫療對策明示

開拓地の學校衞生について岩松在滿教務部長は全聯懇談會席上、開拓地兒童の大多數を占める虎眼と齲齒の根絶策に關して

當面の緊要事として種々對策を考究してゐるが、差當つての醫療施設としては巡回施療班の派遣と專門醫の設置等を行ひ積極的方策を講ずるが、十月渡日の際は先づ信用ある醫師を伴つて來る積りである

と述べ開拓地學校衞生策を明らかにした

消える舞踏場

來年三月閉鎖決定

消えゆくネオンの嘆き、新體制下の不必要娛樂として舞踏場は日本內地、大連共に十月末をもつて閉鎖されることゝなつたが、これに呼應して國都でも先般のネオン街肅正と共に當局で愼重考慮中であつた所この程最後の斷案が下された

即ち明康德八年三月十五日までの六ケ月間にホールを閉鎖せしめるもので、その間にだけるダンサーの服裝室內の照明、廣告ネオン等は料理店カフエー肅正に倣ふと共に閉鎖期限までに店主は責任を以てダンサー及び從業員を轉向させるもので

廿三日午後モンテカルロ、國都會館、新京會館の三舞踏場主へ通達されたが、これでこの三ホールのダンサー、バンドマン、事務員、ボーイ等約二百名の從業員が時局に即應した生產面へ新しき出發をすることゝなつた

全聯スナップ

岸田氏來場

寫眞上は張國務總理と丁鑑修中央本部長との議場會話スナップ、下は富田議長と曲實踐部長との議題の囁き

日本からの珍客映畫でお馴染みの「暖流」の作者岸田國士氏が特別傍聽席に現れ熱心にき入つてゐる、次の作品には

委員席の三猿

全聯を取入れるか？委員席におさまる竹內さんは目をつむり、田村教育司長は大きな書類の風呂敷包の陰で小さく居るし、小山さんは手でロをおさへ、まるで——いはざる、きかざる、みざるの三猿

マイクが高い

古海經濟部次長の次に登壇した武部總務長官、古海さんより小さいので立てゝあつたマイクの臺を横にしたりマイクを縮めたりした揚句、顏見合せてニツコリ（冕）

白露系劇團の立派さに感嘆

岸田國士氏來京

民生部の招聘をうけて在滿白系露人の文化生活視察のため去る十三日來滿した創作家岸田國士氏は大連、奉天、哈爾濱の各地を歷訪ののち廿四日午後一時半着あじあで來京、プラツトホームで開拓地の見學終へて新京から同列車で歸國を急ぐ吉屋信子女史とひよつこり顏を合せ「これはこれは」の奇遇の挨拶を交したのち、深井民生部文化科長はじめ文話會員多數に出迎へられ宿舍ヤマトホテルに入つたが「大變意義深いものを得ました」と欣然として語る【寫眞は歸國の岸田氏と吉屋女史】

恰度モデルン劇場で上演中のトムスキー一座の「土蔵の生涯」といふ劇を見たがこんない劇團が日本の近くに結成されてゐるのには驚き入りました、全く本格的な立派な劇團で東洋では一寸見られぬものです、その他六、七人の作家達と會談したが、これからいゝ仕事が出來るだらうと期待の出來る非常に將來性のある人々でした

なほ氏は廿五日午後五時から國防會館で文藝講演を行つたうへ廿六日午後六時から齊藤グリルで文話會員達との座談會を開き廿八日頃新京發三河地方の白系露人の生活振りを一週間に亘つて詳しく視察する豫定

珍し通譯不要

日系教育の討議

廿ケ年百萬戶入植の開拓政策をトする開拓團員の子弟教育問題根本策樹立を企圖して開かれたこの懇談會はほんとの民族の中核となつて働くのは開拓地の次の時代を背負ふ子供等だからといふので政府側も國創りの大業の一翼を果すつもりで頗る熱心に討議されたが、此の懇談會では此の他にも一つの特異性を生み出した

元來が日本人子弟の教育問題であるだけに集つた代表にも政府側にも一人も滿系がなく、全部日系といふ變つた顏觸れで從つて滿洲の如何なる會議にもつきものの通譯がいらなくなつたことである、協和會側では原則的に懇談會に通譯をつけることとなつてゐるので通譯として朴君が配屬されたものの、わざわざ滿語に翻譯する必要もなく至極手持無沙汰に煙草ばかりくゆらして一日の靜養なしてゐた

このため懇談の進行狀態はスピードアップされる許りでなく文通り忌憚なき意見が飛び出し腹藏ない回答が出て內容は頗る充實し久しぶりに日本で會議をやつてゐるやうな氣分が出てどの代表も何か當がはづれた感じの中にも何かしら樂郷の感といつたものを感じた

長老代表病缺

全聯代表の最年長者として全省張敬齋氏（五九）が三日間に亘る深夜會議の疲れから出席できず……

空飛ぶ神樣

東寧神社遷座祭

御神體は飛行機で滿ソ國境へ＝紀元二千六百年を記念し御造營中の東寧神社は來る十月十日完成と共に盛大な遷座祭を三日間に亘り擧行するが合祀される御神體は途中の御警備その他を考慮し新京から直接飛行機によつて東寧へ御迎へすることに決定した御神樣がはるばる滿ソ國境最前線へ空から御遷座されることは滿洲はもとより日滿を通してこれが嚆矢であらう

日本紀元二千六百年慶祝文

滿洲帝國協和會全國聯合協議會は全會一致を以て吾等四千萬國民の感激を披瀝し盟邦日本帝國の紀元二千六百年を慶祝せんとす、顧みれば我國建國茲に九年、今日世界に比類なき飛躍發展を見たるは偏に盟邦の仗義に基くものにして吾等國民の常に感激するところなり……

皇軍に感謝文

廿四日の全聯本會議に緊急動議として提出され滿場一致可決された皇軍に對する感謝決議文は次の通りであるが、右決議文は直ちに陸海軍大臣、在支軍總司令官、支那方面艦隊司令官、朝鮮軍司令官宛發送された

滿倶優勝街道へ

電業敗二 制覇の望薄し

野球成績

打擊十位

第一線の人を近く日本派遣

文化部門の推進

滿洲國の文化向上をめざす民生部では滿洲文話會に委囑して滿洲國文化事業に携る第一線の人々を日本や國內奧地方面へ派遣することとなつたので委囑をうけた文話會では數回に亘る役員會により

△美術關係＝池邊青季、張奎楓、于蓮客、石損の四氏

△作家、詩人＝日向伸夫、坂井艶司、石軍、劉爵靑、今村榮治の五氏

△評論、家藝評家＝大谷健

調査者先づ認識を徹底

警察官國調講習

馬場若素專務取締役來京

グライダー曳航機航空日に歸還

壯擧完了華添ふ

三笠町ボヤ

物產振興協會社に改組

サーカスお名殘り本紙讀者を優待

ニセ刑事常習

米若師病全快

あじあの船車連絡に制限

新京賽馬

三笠校大楠公像の入魂式

吉林紅葉狩團體を募集

病苦から縊死

家庭

茶だんすの臭氣ぬき…

食器を入れる茶箪笥特有の臭氣は小皿に木炭又は木炭の粉を盛つて戸棚の隅に入れておきますと臭氣はすつかり炭が吸つてくれますから臭氣どめになります、なほこの炭は時々新しいものと取り替へるか火で乾かすことが必要です

電燈覆ひは危險

電燈をつけた上から布をかけたり、紙で覆ふたりすると、中に熱がこもつて、焦げ出してボヤの原因となりますから注意しないといけません、裸の電球を障子や唐紙などに近づけておくのも同樣の結果を招きます

興亞の子等よ心身共に健かなれ

智能發育不全は早期治療で癒る

＝低能兒は親の責任＝

次の時代を背負つて立つべき興亞の子供等の教育が喧しく叫ばれ子を持つ親はもとより心ある人々の關心をあつめて居りますが「健全なる精神は健全なる身體に宿る」といはれる通り、愛し子よ！　心身ともに健やかなれ、と祈らぬ親はありますまい、記者は、中央通市立保健所に、幼い子供たちの健全なる

精神 指導に獻身的努力をしてゐられる心理科の寺尾滿吉先生を訪ひ、幼兒の智能發育について次のやうなお話を伺ひました

よく低能兒を連れてお母さん方が見えられますが、低能兒となる原因の八十%まではその子の兩親或は祖先に精神異常者があつた場合で、これが遺傳的に現はれて來ます、後の二十%は所謂後天的であつて兩親が黴毒であるとか、結核患者であるとか或は

大酒 呑みであつた場合に生殖細胞が弱つて、生れた子供に惡影響を及ぼし、低能兒の原因となるのであります、又姙娠中に過勞とか、精神的に大きな衝動を受けるとか、或は轉んだりした場合、又は早産の場合にも低能兒となる原因が作られることもあります、生れ落ちてから低能兒となる原因は、幼兒の折の急性熱病、傳染病例へば

腦炎 とか、赤痢、腦膜炎、極度の消化不良等からも智能の發育不全を來たすものであります、かうしたことは多くの場合生後一年六ケ月以内に起るものであつて、特に注意しなければならないことは、離乳期にあつて母親の無關心から榮養障害を起し、惹いては智能の發育が遲れるといふ例のあることです、次に幼兒の精神發達の遲れてゐる徴候はどんなふうであるかといひますと、身體的に見て畸形的な部分が多く、例へば頭の

恰好 がいびつであつたり、歩行期がずつと遲れたりしてをります、大體に於て幼兒は遲くとも生後一年六ケ月迄には歩かなければならぬのですが、一年半を經過しても歩けないといふのは、精神の發育に異常ありと疑つてみるべきであります、次に手先の運動が器用であるかないかも一つの精神發育の標準になります、滿三歳になつてもお茶碗を一人でもてないとか、四歳をすぎても洋服のボタンをかけきらないとかいふのも精神異常の疑ひがかけられます、次に精神的の方面からいひますと、第一に

言葉 の發育が遲れてゐる、マンマなどといふかたことは大體滿一年六ケ月までには言へるもので、滿三歳から四歳までには日常使ふ會話が分るやうになり、語れるやうになるもので、かうした標準に達しない子供は矢張り智能の發育に缺陥があると見るべきです、又、數を讀むことも四歳二ケ月迄には十三迄數へることが出來るのが標準で、これに達しないのは矢張り精神發育の遲れてゐるものと見なされます、子供は三歳から四歳になると色々の

質問 をしたがり、うるさく聞きたがるものですが、さうした質問をしない子供は矢張り精神的に遲れてゐる證據です、又、友達と遊ばないとか、遊んでも同年や年上の子供を避け、自分より年下の子供ばかりを遊び相手に求めるといふやうな場合は矢張り精神發育の遲滯してゐるものと見るべきでありませう、その他喜怒哀樂を現はさぬ子供、睡眠を充分にとりきらぬ子供、或は睡眠中びつくりして起き上る子供等は矢張りどこか精神的に異常があると疑へるわけであります、以上が大體低能兒の

特徴 といふべきものですが、しかしこんな特徴が一つあるからと言つて、決して低能兒とは限りません、只そんな場合、つまり人並に遲れてゐる所があると考へられる場合は、一應專門醫の診斷を受けて、幼兒の中に適應した精神教育を施さないと成長してから取り返しのつかない結果になります、幼兒の中ですと、いくら智能の發達が遲れてゐても割合容易に癒すことが出來るのです、社會には、肉體的の健康

相談 所が有り多くの人に利用されてゐる如く、精神的の健康相談所も必要でありませう、新京には保健所内にその機關があり、此處では低能兒の相談のみでなく、或は學業不振の子供や、天才的な利口な子供達をもどし／＼連れて來て相談していただきたいと希望する次第です

秋の子供（5）

葡萄の種は怖くない！

葡萄が出盛つて參りました、果物好きの方には見逃せぬ秋の味覺ですが買ひ方についての注意を二、三述べませう

◇……先づ色澤のよいものを選びます、これは味ひがよいからです、軸の生きてゐるもの、これは新鮮であることの證據です

◇……葡萄は新しくて手のふれてないものは皮の表面に白つぽい粉がついてゐて、手をふれると光澤が出ます、ですから買ふときにこの薄い粉がぼかされたやうに多くついてゐる物が良いのです、そして皮の表面には健康によい酵母があります

◇……さて次に喰べるについての知識として葡萄の種で盲腸炎を起す心配があるやうに言ひならされてをりますが、こんな例は極めて稀なことゝされてをります、種の周圍には一番多く體のためになる酸があるのですから、これを棄てるのは無意味ですし中の酸を出さずに食べるのが味ひもずつとよいのです

◇……そして喰べるときには水で綺麗に洗ひ、軸をちぎつて口に運びますが、酵母を含んでゐる皮の表面の粉樣のものを落さないやうに、買ふときも、洗ふときもちぎるときも絶對に實に觸れないことです、そして中味だけたべて皮はよくかみしめて出します

◇……食後に食べれば胃腸の蠕動を良くし氣分も爽快になります、尙保存するには風通しのよい所へおきます

婦人サロン　浣腸の知識

注入は靜かに少しづゝ

▼…浣腸をするのには注射器のやうな浣腸器といふものを藥屋から買つて來ますそれにリスリンをぬるま湯で倍にうすめたものを作り子供ならば三十グラム位、大人の場合には三百グラム位を肛門から注し込むのであります、浣腸するリスリンの量はなるべく多い目にする方が効果が確かです

▼…浣腸器を肛門に入れる時には病人にはなるべくお腹に力を入れぬやうにさせ浣腸器の先の管にはオレーフ油などをつけて、肛門をよく開かせ、靜かに深く十センチ位もさし込み、それから靜かに藥液を注入するのであります、この場合、一氣にグッとリスリンを注入するとすぐ便意を催して便が完全に出ないことがよくありますから靜かに少しづゝ徐々に注入することを忘れてはなりません注入し終つたら浣腸器を靜かに拔いて脱脂綿で肛門をよく押へ三分か五分位そのまゝ我慢して便器をあてるのであります

▼…近頃浣腸器のいらぬ手輕ないちじく形のセルロイドの容器にリスリンを入れた浣腸藥も賣つてをりますさういふ場合子供でもなるべく大人用の二十グラム入つたものをお使ひになるのがよろしいでせう

ラヂオ

あさ

六、〇〇（新京）建國體操
六、一八（大連）入港船のお知らせ
六、二〇（東京）ニュース
六、三〇（大連）初等滿洲語講座　幸　勉
六、五九（東京）時報
七、〇一（新京）天氣豫報
（東京）朝の修養「新生活の實踐」（三）石井館造
七、二〇（新京）朝の音樂（レコード）（一）獨唱「マリア・マリ」（カプア作曲）「フニクリ・フニクラ」（デンツア作曲）（テノール）シユミツト（二）管絃樂　拔萃曲「朱金昭」（ノートン作曲）ロンドン・バラエティ・アム管絃樂團（指揮）クリーン（三）圓舞曲「戀の歌」（ヨハン・シュトラウス作曲）ウイーン・フイルハーモニック管絃樂團（指揮）クラウス
八、〇〇（新京）建國體操
八、二〇（新京）氣象通報
九、〇五（東京）經濟市況
九、三〇（東、奉）經濟市況
九、五〇（大連）幼兒の時間　ウタノオケイコ「オヘンジ」（指導）古藤孝子（ピアノ伴奏）池田稲子
一〇、〇五（大連）家庭メモ
一〇、一〇（大連）料理獻立
一〇、二〇（大連）家庭の時間「街に聽く新體制風景」（錄音）瑞留アナウンサー
一〇、四〇（新京）食料品値段　藁田正藏
一一、三五（奉天）經濟市況
一一、四〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報

ひる

〇、〇一（奉天）經濟市況
〇、〇五（新京）輕音樂「ダムール」（東松二郎編曲）「林檎花咲く頃」（佐伯孝夫作詞、飯田信夫作曲）「ミシシツピーの流れ」（ワスター作曲、東松二郎編曲）「チヤイナタンゴ」（藤浦洸作詞、服部良一作曲）「ナポリの夜」（東松二郎作詞編曲）「月影の丘」（藤浦洸作詞、服部良一作曲）「黄昏」（小澤幸一作詞、東松二郎編曲）「若き日の夢」（仁木他喜雄編曲）（唄）水町十代子、小澤　進（伴奏）CYアンサンブル
〇、三〇（東・新）ニュース
一、〇五（東京）經濟市況
一、五〇（奉天）經濟市況
二、五五（新京）氣象通報
三、〇〇（東京）婦人の時間「働く婦人の生活報告」
三、二〇（東京）經濟市況
三、三〇（東京）教師の時間「讀本朗讀講座」（三）卷八　神保　格
四、〇〇（東・新）ニュース
引續き（新京）野球試合實況＝兒玉公園野球場より中繼＝新京野球聯盟秋季リーグ戰　電業對滿業（瑞留アナウンサー）　渡邊　仁三
四、三〇（奉天）經濟市況

よる

六、〇〇（哈爾濱）子供の時間　童謠組曲「お伽列車」桑原拓郎（作曲）赤松秀雄（編曲）白樺コドモ會、FY
ラヂオオーケストラ（指揮）印南　不二男
六、二〇（新京）コドモの新聞
六、二五（安東）趣味講演「昨今の法院に現はれた社會相」
六、五〇（新京）國民メモ　内藤　勝男
六、五五（新京）カレントトピックス
七、〇〇（東・新）ニュース、告知事項、今晩の番組
七、三〇（新京）歌唱指導「滿洲國防婦人會の歌」武藤富男（作詞）永尾　巖（作曲）（指導）吉田牧江（合唱）新京音樂院合唱團女聲部（ピアノ伴奏）荻尾佐一郎
七、四〇（東京）落語「稻荷車」　春風亭柳枝
八、〇〇（哈爾濱）室内樂「六重奏曲」（グリンカ作曲）第一樂章アレグロ、第二樂章アンダンテ、第三樂章アレグロ　コン　スピリット（第一ヴァイオリン）ベリヤコフ（第二ヴァイオリン）セルザシトフ（ヴイオラ）フリチエフ（チエロ）エイシヤホフ（コントラバス）ジ・シヤホフ（ピアノ）ブテニユーウイツチ
八、三〇（東京）物語「一等三角點」（梅本壽吉作）　星　光
九、〇〇（新京）談話の時間　滿洲拓植公社總裁陸軍中將　二宮　治重
九、三〇（東京）建設日記「ルミ子ちゃんと國勢調査」中村メイコ　他
九、三九（東京）時報、ニュース、ニュース解説、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

婦人・子供の時間

（前九、五〇）幼兒の時間、ウタノオケイコ「オヘンジ」（一〇、五）家庭メモ（一〇、一〇）料理獻立（一〇、二〇）家庭の時間「街に聞く新體制風景」（一〇、四〇）食料品値段（後三、〇〇）婦人の時間「働く婦人の生活報告」（六、〇〇）子供の時間、童謠組曲「お伽列車」（六、二〇）コドモの新聞

列車時刻

【發】

▼奉天方面行
大連行 急　二・三〇
奉天行　六・二五
釜山行（ひかり）　八・〇〇
奉天行　八・三〇
大連行（はと）　九・三〇
營口行　一〇・三〇
四平街行　一一・三〇
大連行（あじあ）　一三・三〇
奉天行　一三・四〇
大連行　一四・三〇
大連行　一五・二五
四平街行　一六・五〇
釜山行（のぞみ）　一八・五〇
四平街行　一九・四〇
大連行 急　二一・四〇
大連行　二三・一〇
奉天行　二三・三〇

▼哈爾濱方面行
哈爾濱行 急　三・四二
德惠行　五・一五
哈爾濱行　六・三〇
哈爾濱行　八・〇〇
哈爾濱行 急　九・〇〇
哈爾濱行　一二・五〇
哈爾濱行（あじあ）　一五・三五
德惠行　一七・〇〇
哈爾濱行　一九・三〇
牡丹江行　二三・四五

▼圖們方面行

【着】

▼大連方面より
大連發 急　三・三〇
大連發　六・一八
奉天發　七・四五
大連發　八・四〇
大連發　八・四六
四平街發　九・四〇
四平街發　一〇・三〇
釜山發（のぞみ）　一一・四二
奉天發　一二・三〇
大連發　一五・二〇
大連發（あじあ）　一六・四八
奉天發　一八・四〇
大連發（はと）　二〇・二〇
釜山發（ひかり）　二一・二五
奉天發　二二・四五
大連發　二三・三〇

▼哈爾濱方面より
德惠發　〇・三〇
哈爾濱發　二・二〇
牡丹江發 急　六・五四
哈爾濱發　六・五四
德惠發　七・三〇
哈爾濱發（あじあ）　一二・五〇
哈爾濱發　一三・三〇
哈爾濱發　一五・〇〇
哈爾濱發　一八・四〇
哈爾濱發　二二・三〇
哈爾濱發　二三・〇三

▼圖們方面より
吉林發　七・五二
吉林發　一一・二四
牡丹江發　一四・一〇
圖們發　一七・二一
吉林發　二〇・四〇
羅津發 急　二一・二〇
吉林發　二三・一五

▼白城子方面より
前郭旗發　一三・〇一
白城子發　一八・三三
白城子發　二一・〇五

白城子行　八・二五
白城子行　〇・五五
前郭旗行　七・〇五

出船入船

大阪商船出帆

扶桑丸　九月廿八日
うらる丸（らぷらた丸）　九月廿九日
うすりい丸　九月三十日
さんとす丸　十月一日
熱河丸　十月二日

門司、神戸行
（午前十一時大連出帆）
三角　鹿兒島那覇行
午後三時大連發
事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビユーローで連絡切符發賣

日本郵船株式會社
大連、長崎、鹿兒島航路
大連行 鹿兒島發 長崎發 大連着
八月廿一日　廿二日　廿五日
九月二日　三日　六日
九月十四日　十五日　十八日
九月廿六日　廿七日　卅日
十月八日　九日　十二日
十月廿日　廿一日・廿四日
十一月一日　二日　五日
鹿兒島行 大連發 長崎發 鹿兒島着
八月廿七日　卅日　卅一日
九月八日　十一日　十二日
九月廿日　廿三日　廿四日
十月二日　五日　六日
十月十四日　十七日　十八日
十月廿六日　廿九日　卅日